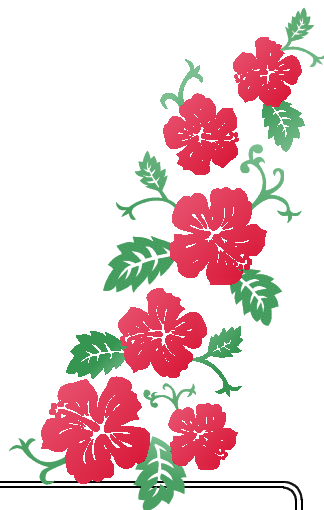


令和5年度



第2回

〈教科用図書北部採択地区協議会〉

議事録



令和5年7月11日火曜日

日向市役所4階 委員会室

令和5年度 第2回 教科用図書北部採択地区協議会 議事録

令和5年7月11日火曜日

8:45 ~ 16:45

日向市役所4階 委員会室

【出席者】

< 教育委員会代表 >

延岡市教育長	澤野幸司	延岡市教育委員代表	宮田靖
日向市教育長	今村卓也	日向市教育委員代表	垣内正俊
門川町教育長	金子文雄	門川町教育委員代表	新名章
諸塚村教育長	竹内一久	諸塚村教育委員代表	小川理智子
椎葉村教育長	柚木和浩	椎葉村教育委員代表	椎葉英男
美郷町教育長	大坪隆昭	美郷町教育委員代表	長田孝子
高千穂町教育長	戸敷二郎	高千穂町教育委員代表	佐藤有美
日之影町教育長	橋本範憲	日之影町教育委員代表	木下供美
五ヶ瀬町教育長	渡木秀明		

< 保護者代表 >

延岡市PTA連絡協議会会長	荒木大介
日向市PTA連絡協議会会長	葛西了一
東臼杵郡PTA連絡協議会会長	椎葉辰徳
西臼杵郡PTA連絡協議会会長	菊池健太

【役員】

会長	日向市教育長	今村卓也
副会長	日向市教育委員代表	垣内正俊
監事	延岡市教育長	澤野幸司

【議事録作成者】

日向市教育委員会 学校教育課課長補佐 竹之内 一彦


令和5年8月31日

議事録に記載された内容が事実と相違ないことを証明する。

教科用図書北部採択地区協議会 会長

今村卓也 

教科用図書北部採択地区協議会 副会長

垣内正俊 

1 開会行事

【事務局より】

- 本日、北部採択地区協議会委員22名のうち、21名が出席。
- 配布資料の確認。資料は選定終了後回収することを確認。

【会長あいさつ】

- 大変お忙しい中に集まっていた。6月6日に第1回目の協議会を開催してから一月あまりが経過。その間、専門委員による調査研究が行われ、本日の協議会の資料を作成していただいた。また、委員の皆さんにも、たくさんの教科書を調査研究していただいた。本日は、それぞれの市町村の採択の指標となる、「選定」に関する協議を行い、最終的には北部地区として、各教科ごとに「採択」を行うことになる。
- 様々な方面から注目されていることもあるが、この北部地区の児童にとって使いやすく、理解しやすいもの、また、指導する教師にとって、指導しやすい教科書を、慎重かつ公正に協議を進め、採択していきたい。よろしくお願ひしたい。

2 議事

【会長より】 ～ 開会に当たり2点お話ししたい。

(1) 静謐な環境と公正公平の担保

- 一昨日、ある教科書会社からご挨拶と称して、新しい教科書のポイント等を述べた内容の封書が会長宛てに届けられたが、他の教育委員会へは届いていないか？
 - ◆（挙手の結果、計5市町村に届いている）
- 7月に採択が行われることは承知の上であるが、その上での直前でのアプローチとなる。これによって結果が左右されることはないが、静謐な環境を担保した上で、公平公正な採択を行おうとしているときに、このようなアプローチは疑問である。そのことによって排除することはもちろんできないことだが、そのようなアプローチについて、何か意見があれば事前にお伺ひしたい。
 - ◆（本教育委員会にも同じ内容のものが届いた。封を切って読んだが内容が教科書のことであったので、そのまま破り捨てた。同様に他の出版社からも様々な資料が届くので、そういったもののうちのひとつだと理解すればいいのでは。）
- 他にないか。ではそのように理解した上で進めたいが、採択終了後には、しっかりと申し入れをしたい思ひが、それでよいか？（了解・同意）。

(2) 本日の進め方について

- まず各教科ごとに専門委員の代表者から、調査研究の結果について説明を受ける。その後、委員から説明に対する質疑を受け、回答していただく。質疑にあたっては、一番いい発行者はどこか？どの教科書が一番指導しやすいか？などといった、ストレートな質問ではなく、各者の特徴について質問するなど、公平な聞き方をお願いしたい。具体的な教科書名を絞って発言させるような質問は遠慮いただきたい。
- その後、説明者に退席いただき、採択に向けての協議を行い、最終的に決定したい。多数決で決めることとしている。発行者が多い場合は、絞り込んでから多数決をとる。
- 質問があれば…（質問なし）。それでは家庭科から進めていくこととする。

【 家 庭 科 】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 開隆堂の5ページを見たら、防災に備える内容というマークが一番上に載っていたが、防災の内容を取り上げるようなページが、両者に設けられているのか？
回 答	◆ 防災教育については、東京書籍は3ページにマークの説明があり、日々の備えというマークを使い、日頃の生活から防災に気をつける内容を紹介している。開隆堂は、防災のマークや特設ページを設定しており、そこで学習できるようにしている。
委 員	○ 両方とも良い教科書だが、選ぶ観点として、冷汁が取り上げられていたが、それ以外に、子供たちが身近に感じるための、宮崎県や県北の資料があるのか？
回 答	◆ 県北というわけではないが、冷汁については、東京書籍、開隆堂とも両方に写真入りで掲載されている。開隆堂は、さらに出汁の材料と主な産地ということで、宮崎県の干し椎茸も紹介されている。干し椎茸の紹介は53ページである。
委 員	○ それぞれにQRコードがあるが、その中で特徴的なことがあったら教えてほしい。
回 答	◆ どちらも学習で使うプリント、いろいろな作業の動画などが豊富に入っている。それぞれに工夫されている。
委 員	○ 家庭科では、子供たちは実習を非常に楽しみにしていると思うが、ご飯とみそ汁のところを見ると違いも感じる。特徴的なところがあったら教えてほしい。2者の取り上げ方の違いや特徴、気をつけてほしいことなど、あったら教えていただきたい。
回 答	◆ 教科書の作りから言えば、東京書籍の48、49ページに味噌汁の作り方が、開隆堂は52、53ページに味噌汁の作り方が書いてある。どちらもわかりやすく、順番に写真入りで具体的に、その作業については説明がなされている。東京書籍も開隆堂も見開きで、作業部分の流れが左から右にわかるように作られている。 ◆ 作業の仕方、切り方等については、東京書籍は、136ページ、137ページに、開隆堂は148ページと裏表紙のところを見ていただくと、写真入りで、実際に写真の上に手を置いて、調理することができるように掲載されている。また、両社ともに左利きの子どもがどう切るかということも掲載されており、とても丁寧に作られている。

3 協議・採択

会長	□ それでは採択のための協議に移らせていただきたい。
委員	■ どちらがいいかということではないが、包丁の使い方について137ページ、148ページにあるが、指の添え方はこれで正確なのか？少し危ないのではないかという気がしている。どちらかという、開隆堂の方が自然ではないのか？と思う。以上。
委員	■ 実習のところでご飯と味噌汁のページがあったが、子供たちがその順番に見たりしているときに、やはり開隆堂の方の流れがしっかり抑えられているように思うので、理解しやすいかなという感じがした。
委員	■ ソーイングのところで、巾着袋を作るところがあるが、そのページも見比べたときに、こちらも開隆堂の方がやりやすいかなという感じがした。 ■ 教材を買ったときに、説明書が袋に入ってくるので、特に必要ないのかもしれないが、やはり教科書で表してあると残るので、そういったところでもやはり開隆堂の方が扱いやすいと感じる。指導もしやすいし、子供たちにもわかりやすいんじゃないかと思う。
委員	■ 一番最初のページの見開きのところで、小学校5年生から始まる家庭科が中学校にどう繋がっていくか、また、それまでの学習とどう繋がっているかという、学習の繋がりをイメージしているものが両方の発行者にあるが、イメージしやすいのは開隆堂の方かなと思った。 ■ 例えば、延岡で言えば、島野浦の子供たちは中学校を卒業した後、島から高校に通うことができなくて、島から出て、自分で下宿等をしながら生活していく、まさに実践の力というのを早いうちから見つけていくっていう必要があるときに、学びがどのように繋がっていくのかといったところをイメージしながら、家庭科の学習をしていくのはとても大事だと思う。
委員	■ 色合いのことだが、東書の方は白抜きの文字が結構多い。多分、特別な支援を要する子供たち、視覚にいろいろ課題がある子供たちからすると、白抜きの文字が見にくいかもしれないなと思った。そう考えると開隆堂の方は黒文字になっているので、やはりそういった子供たちへの配慮からすると、開隆堂かなと思った。
会長	□ あと2～3名の方に意見をいただき終わりにしたい。
委員	■ 東京書籍は「生活を変える」という言葉が頻繁に出てきたが、開隆堂は「生活を見つめる」という言い方をしていて、見つめてからでないで変えることはできないと思うので、まずしっかり見つめるということが書かかかっている開隆堂に私は賛成である。
委員	■ 書き込む欄は両者にあるが、紙教科書の紙質のことでいえば、開隆堂の紙質の方が、子供たち力は弱い子でも書き込みやすいのではないかと思う。
会長	□ 様々な視点があるが、最後にしたいと思います。
委員	■ どちらを見ても良い教科書だなあと思って、甲乙付けがたいと思った。

会 長	<p>ほとんどの方が開隆堂の方を評価されてるみたいだが、本年度まで使われている教科書の状況なども参考にすると、今後、他の教科を採択する際の目安としても、現行の教科書は選ぶ一つの要因になるのではないかと思う。</p> <p>また、中学校でも、開隆堂が使われているが、そのような中学校との関連といったものも加味して決めるといいのではないかと思った。今は圧倒的に開隆堂の意見が多いので、やはりそういう見方があるんだなと思った。</p> <p>□ 最後にまとめていただいたような感じもあるが、両者どちらも甲乙つけがたいけれども、現在使っているものをベースにして考えるのも一つの方法ではないかというご意見と、生活を「変える」、「見つめる」という視点、それから実習との関連のことや、文字の取扱いのこと、中学校との繋がりのこと等、様々なことが出された。そのようなことを踏まえ、これまでの意見を総合すると、現行の開隆堂が良いのではないかというご意見が多数だったと思うが、そちらで決めてよろしいか。よろしければ挙手をお願いしたい。</p> <p>(全員挙手) それでは家庭科については、現行と同じ開隆堂を採択するということにしたいと思う。</p>
-----	--

【音楽科】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 教育出版の方が、タンカタンカターンといった拍の押さえ方が、例えば5年生の観点1の13ページのような形で、しっかりと押さえられているような感じがしたが、二つを見比べたときに、拍の押さえ方という視点で、何か意見が出ていたらお聞かせ願いたい。
回 答	◆ 拍の押さえ方については、当研究会の場では特に出なかった。
委 員	○ 教育芸術社の5年生のところで、QRコードで作り直しができるという説明があったが、教育出版社にはそのような機能や仕掛けはなかったか？
回 答	◆ 教育芸術の特徴的なことで、児童が作曲した音符を入れ込むと、それを繰り返し聞き取って、再考することができるようになっている。
	教育出版の方ではそういう機能はないが、ワークシート等が掲載されており、それに書き込んで、先生や指導者の端末に提出したりできる。また、2年生上の巻末には、音符や休符記号や用語についての資料等を、二次元コードで見ることができるよう工夫もある。
委 員	○ 両方の教科書会社ともに、国歌の取り上げ方以外はほとんど同じだが、

回答	<p>国歌の取り上げ方については、専門委員の方では意見が出たようなところはなかったのか？</p> <p>◆ 国歌については、教育出版では、全学年で楽譜とともにさざれ石の写真と説明が掲載され、オリンピックやワールドカップなどで歌われることについて触れられている。「君が代」には平和への願いが込められていること、世界の人々も同じように自国に誇りを持っていること、それをお互いに尊重することの大切さについて、学年に応じた言葉で記されている。</p> <p>教育芸術では、全学年ともに巻末に記載されている。1年生では歌われる場面としてオリンピック、3・4年生では、さざれ石の説明、5・6年生ではWBCやラグビーの世界大会の様子とともに、国歌を歌ったり聞いたりするときのマナーについても掲載されている。</p>
委員	<p>○ 教育芸術の方では、最後のページのところに音楽を表すいろいろな言葉ということで掲載されているが、教育出版の方にはその言葉に関する部分の記述がないような気がする。そのあたりはどうか、もし研究したことがあればお願いしたい。</p>
回答	<p>◆ 教育芸術の方には音楽を表すいろいろな言葉が、巻末の方に掲載されているが、教育出版社の方は、巻末に、振り返りのページとして、習ったこと等を、フレーズだとかリズムなどで、まとめてあるページがある。</p>
委員	<p>○ 素朴な質問なんだが、教科書の形が正方形に近いので、なぜだろうと思っていたが、開くと非常に開きやすいので、音楽には向いてるのではないかと思った。理由がわかれば教えてほしい。</p>
回答	<p>◆ 教科書の形までは協議に上がることがなかった。ただ教育出版の方は折込が全てにあり、写真とかが広く見えるようになっている。</p>

3 協議・採択

委員	<p>■ 教育出版の5年生の49ページに注目したが、音楽は感覚的なもので、センスといった部分ということが多分にあると思う。絵や写真がたくさんあってそこから曲想がイメージしやすいので、どんなふうに表してみようかといった、五感を使った指導の仕方という視点では、この例はとてもいいと思った。どちらも絵はたくさんあるけれども、イメージを湧かせるような絵の使い方というのが、教育出版はとても素晴らしいと感じた。</p>
委員	<p>■ 今のご意見に私も同じように考えていた。教育出版の方は、織り込みとか、挿絵であったりとか、写真とかが非常に何か上手く使われていて、教育芸術の方も同じようにしてあるけれども、音楽という華やかさの部分というものを、折り込みとか写真等でうまく表しているのは、教育出版社なのかなという感想を持った。</p>

会 長 委 員	<p>□ P T Aの代表の皆さんも遠慮なく意見を述べてほしい。</p> <p>■ 目次を比べながら見せていただいたが、5年生のところでは、教育芸術の方は、お互いを響かせて、心を繋げようというイメージの、〇〇しよ的な表現だが、教育出版の方は、例えば、和音や低音の働きとか、的確であって、またわかりやすいのではないかと、といった気がした。</p> <p>子供たちがやっぱり最初に見るのは、文字じゃないかなと思う。そうすると、やはり単元単元の8項目の中で、わかりやすく表記されているものの方が、子供たちにはわかりやすいのではないかという感じを持った。</p>
会 長 委 員	<p>□ 他にいかがか？</p> <p>■ 表紙だ。表紙をぱっと見たときに、これはいいなあ！楽しいなあ！と思ったのは教育出版であった。教育芸術の方は、全学年全部白地の表紙である。イラストがある教育出版の方は、学年によって下地の色、背景色を変えてある。また、加えて教科書の表題もインパクトがあった。教育出版は「音楽の贈り物」というタイトルである。「音楽」じゃない。これがいいなあと思った。やはり小学生の子供たちには「音楽って贈り物だよなあ」というイメージがいい。非常に音楽に親しみを感じるという、そんな標題である。</p>
委 員	<p>■ 教育出版の方が楽しく学べそうな気がすると思う。逆に教育芸術はちょっと難しそうな気がする。</p>
委 員	<p>■ 重複するところもあるが、どちらの教科書も5年生のもので比較しているが、これ全体的に二つの教科書を比べてみると、作曲の観点がすごくあるなと思う。音楽ではゆくゆくは、そんなふうに、作るという方向を目指しているのかなという気がした。</p> <p>教育出版社の5年生の18ページと、教育芸術の5年生の34ページに、どちらも曲を作るところがある。これを比較してみたときに、記号が出てくるが、教育出版の方は楽譜に書き込んであるので、子供にわかりやすいと感じたし、教えやすいと感じた。先ほどご指摘もあったけれども、教育芸術の方は、教える側も少し難しい感じがするし、見たときもちょっと難しいなあというイメージを持ってしまった。</p>
委 員	<p>■ 地域色というところで見ると、教育芸術の方は、民謡のところが高千穂のかりぼし切り歌が出ている。県北の情報を出していただいているなあと思っている。一方、教育出版については、一つが椎葉村のひえつき節、そしてもう一つはお祭りを訪ねてというところで、4年生で高千穂の夜神楽が掲載されている。そういうふうに2教材あるなあ思っている。</p> <p>やはり宮崎県の、そういう郷土のものを大事にしているということからすると、教育出版の方がよろしいかなと思う。ただ、ひえつき節の写真が古いので、新しいものに変えた方がいいかなという気がしている。</p> <p>ぜひ申し入れをしていただきたい。</p>
会 長	<p>□ 今までの意見をまとめると、もうほとんど皆さん教育出版が良いのでは</p>

	<p>ないかという意見であった。現在採択している教科書も教育出版であるが、現行のままがいいのではないかというご意見だったと思うが、教育出版でよろしか、よろしい方は挙手をお願いしたい。(全員挙手)</p> <p>それでは、音楽は教育出版を採択するということにしたいと思う。</p>
--	---

【国語科】

1 専門委員説明

2 質疑

委員	○ どの発行者も、読書にいざなっていこうということに関連する、図書の紹介があるが、その図書の内容について何か、特徴があれば教えてほしい。
回答	◆ 各発行者とも、図書室や図書館の利用の仕方について、小单元やコラムなどのコーナーを設けて、子供たちが読みたい本を選ぶ方法や、疑問に思ったことを調べる方法といったものを、わかりやすく紹介するページを設けている。さらに多くの発行者で、デジタルコンテンツを利用して読書力を高めようという意図で、関連作品を巻末に収録したり、あるいは单元末に収録したり、あるいは本を読む楽しさを友達同士で伝え合う活動などを取り入れたりと、読書活動を高めるための工夫が各者ともに見られる。
委員	○ 国語の教科書でも、QRコンテンツや二次元コードなどは、現在どこの教科書にも出ていると思うが、例えばその内容に違いがあるとか、練習問題を作っているところと、作っていないところがあったりするんじゃないかと思う。
回答	<p>そのあたりの量であったり、漢字の量や、家庭学習である場合の違いとか、非常に参考になると思うが、違いがあれば教えてほしい。</p> <p>◆ 各者ともにデジタルコンテンツを取り上げている量が、現在の教科書よりもかなり増えており、東京書籍では、21のQRコードがある。現行教科書の16からプラス5増。教育出版は26のQRコードがある。現行の19から7増。光村図書は、25のQRコードがある。現行の18から7増となっており、各者共にデジタルコンテンツを増やしている状況が見られる。</p> <p>なお、内容については、例えば読み物資料であればその朗読を、QRコンテンツから拾って読むことができたり、あるいはワークシートに直接書き込むことができたり、あるいは低学年で言えば、文字の書き方とかが取り込めたりでき、各者ともに、工夫されたデジタルコンテンツの内容がある。</p>
委員	○ 子供たちの読みを助けるものとして、説明文にしても、物語教材にして

回 答	<p>も、その挿絵が結構子供たちの読みを助けたり広げたりすることに繋がって いくと思うが、その3者で、特徴的なところはないのか？</p> <p>◆ 研究会では、写真について話題にあがった。色使い等については、全ての 子供たちに優しい色使いをしているとか、大きさについても子供たちが見 やすいような大きさに配置されているとか、そういったことについて検討が なされた。各者の挿絵の違いについては分析はしていない。</p>
委 員	<p>○ QRコードが付いてるということだが、そのQRコードを指導過程の中 でどのように取り扱っていくかということについて、専門委員会では、意見 は出なかったのか？</p>
回 答	<p>◆ 今ご意見いただいた、まさにそのことが学校の大きな課題でもある。加 えて先生方がなかなかついていけないという部分もある。実際、各学校の校 内研究等で、デジタルコンテンツの使い方については研究が進められている ところではあるが、研究委員会では、このQRコンテンツは学校の指導の中 ですぐ使えるようなものであるとか、このQRコンテンツは家庭で使えるも のであるとか、QRコードをコンテンツによって使い分けていくことが必要 だといった意見が出た。今後更に研究を深めていく必要があると思っている。</p>
委 員	<p>○ 物語文の学習の進め方のようなところが、どの会社にもあるが、今見て みると、若干特徴的なものがあると思う。学習の進め方というか、特徴的な ものというか、そのようなものがあれば教えていただきたい。</p>
回 答	<p>◆ 各者ともに、先ほど申し上げたが、主体的な学びを大変重視しており、 子供たちの素朴な疑問から問いを促し、そして学習の流れを示し、そこで単 元で見つけるべき力を示し、見通しを持って学習をさせるといった方法で、 それらを主体的な学びに繋げていこうという取り組みが見られている。</p> <p>どこがいいということは申し上げられないが、それぞれの者が本当に工夫 して、主体的な学び、そして対話的で深い学びというのを追究した教科書で あると感じている。</p>
委 員	<p>○ 今気がついたが、光村には民話の中で、韓国のもので取り上げられてい る。他には挙げられていないが、海外や外国の、そういった話については、 他の学年とかの取り扱いなど、特徴があったら教えていただきたい</p>
回 答	<p>◆ 他者では、外国の物語を取り扱ったという例は見受けられなかった。た だ、SDGsということを中心に、様々な教材が設けられており、その一環と して、この韓国の教材が取り上げられているのではないかと感じている。</p>

3 協議・採択

委 員	<p>■ 難しいなあと思って質疑も聞いている。特に教職経験者の皆さんの意見 等を聞きながら、大変感心してる。この国語の中でちょっと気づいたのは、</p>
-----	--

委員	<p>東京書籍の下の最後のページに、点字の表があることである。点字の表は他の発行者にはないんじゃないかなと思った。</p> <p>■ 少し、教職目線だが、特に国語科においては指導する教員の負担ということがやはり大きいと思っている。教科書が変わっていくと、教師が新しい会社の教科書の教材について、またゼロから教材研究してやっていくということになってくる。元々プロフェSSIONナルだから、専門性があるわけであるが、働き方改革など様々な課題がある中で、非常に負担が大きいと感じている。見てみると、教材自体はそれぞれの会社でこれまでに使用しているものと、大きくは変わってないということからすると、そのような視点も大事にすべきではないのかということも一つある。</p> <p>もう一つは、扱っている教材の中で、光村には平和教育に関する教材が多いように思う。今のウクライナ問題だとか、そういった世界的なことを考えたときに、この平和教育に関わるような教材を扱っていることが大切であり、光村を使うということが大事ではないかなと思っている。</p>
会長 委員	<p>□ 現行の教科書についての意見である。他にいかがか？</p> <p>■ 目の感覚で三者を比べてみたが、教科書の文字の大きさ、イラストの使い方、あと各5行目10行目とかの段の表示が、光村の方が見やすいなど感じた。段の取り方にしても、細かに上段下段にも取ってある部分もあり、そのように感じた。</p>
委員	<p>■ 国語の教科書を3者を比べたときに、光村図書の教科書が非常に読みやすい感じを受けた。横並びでいろいろ調べてみると、光村の色合い、これが新書版に近い、少しクリーム色系統である。他は強そうな感じの紙面になっているような気がしている。我々がよく親しむ本というものに、一番色合いがよく似ており、文章を読むということに関しては、見やすい印象を受けたのが光村だった。</p>
委員	<p>■ 先ほど読解力云々という話があったが、光村図書については、自ら問いを持つというような設定がしてあり、そして目標があり、最後がまた広げようということで、教師にとっても、学習の進め方が非常にわかりやすく丁寧に抑えているような気がした。この部分については他の教科書会社にはないところだと思う。そういう意味からすると光村図書の方がいいのではないかなと思った。</p>
委員	<p>■ その自ら問いを持つという話は、6月から県教委が進めている、新しい学び方と近いイメージである。これから宮崎県では、「ひなた」の学びを位置づけるということで、「㊦とりひとりがしっかりと問いを持ち、㊧かまと共に学び合い、㊨かめよう深く考える力を」中心に据えた取組を行っていくとの説明があった。</p> <p>今後は、おそらく、一人一人が「問いを持つ」ということに力を入れ、クローズアップされて行くのではないかなと思うし、非常に重要な取組である。</p>

委員	<p>そのような視点で見ると光村は本県の学びの進め方に合致している。</p> <p>■ 目次を横に見てもわかるが、読むとか話す、聞くといった、めあて的なものは、どこの教科書もそうだが、この光村の中においては、やはり直接単元において指導された後、例えば本は友達とか、情報とか、そういう細かいところまでが別途特設でなされている。そのような取扱いの部分については子供たちの日常的な生活においても、非常に丁寧であるという感想を持った。</p>
委員	<p>■ 先ほどの方が本の紹介を話されたが、本の紹介の中で、こういう本を読みたいな、この単元が終わった後は、この本を読みたいな、といった書きぶりがなされているのは、光村が一番であると感じる。教科書だけでなく、それで図書館に行ったりとか、また次の本を読みたいという気持ちになるとか、そんな気を起こさせてくれるのが光村なのではないかと感じた。</p>
会長	<p>□ それでは国語については、最後の意見にさせていただきたい。</p> <p>国語について採択させていただこうと思う。東京書籍の点字の話があったが、それ以外については、現行の光村がいいのではないかという意見ばかりであったと捉えている。現行の光村を採択するという事でよろしい方は、挙手をお願いしたい。(賛成多数) 国語については光村図書を採択することにしたい。</p>

【書 写】

1 専門委員説明

2 質 疑

委員	<p>○ 書写についても、SDGsを意識した取り組みというのが各者特徴的に取り上げられていたのか？</p>
回答	<p>◆ SDGsを意識した取組が各者取り上げられていた。例えば東京書籍では、質の高い教育をみんなにとか、緑豊かな資源を守ろうといった意識で、見やすいデザイン、環境に配慮した材料を使うということを工夫しているということがあった。また、教育出版はSDGsの17の目標に関わる言葉を書いてみようという教材があり、意識の涵養を図る工夫が見られている。さらに光村図書では、全学年でSDGsを意識した教材を取り上げていた。SDGsの達成に向けた書写の活動を紹介したり、環境問題に関わる意識の育成を図る、そういった教材もあり、様々な工夫が見られた。</p>
委員	<p>○ 国語と書写、それぞれ3者出てるわけだが、その横の繋がりについては、</p>

回 答	<p>国語と書写の繋がりは関連性があるものがあるのか？また、そういう内容があれば教えていただきたい。</p>
委 員	<p>◆ 国語の単元と書写の教材が関連しているという扱いはなかった。よって国語と書写の発行者が違っても、指導には大きくは支障はないと思われる。</p> <p>書写については、前学年で学んだ漢字を中心に、書くというような教材があるため、特にここの関連を図らなければならないということはない。</p>
回 答	<p>○ 朱墨で表現されてるところが何ヶ所もあり、取り上げ方がそれぞれに違うように感じるが、子供に指導する際に、これをどのように使われるのか、教えてほしい。また3者とも、同じように中綴じになっており、金具で止めてあるが、爪で外せば取れそうな感じがする。何か意図があるのか？</p>
回 答	<p>◆ まず一点目、朱墨についてだが、朱墨は筆の先が赤く、筆先だけが赤くなっており、赤い部分が穂先、筆の先の動きを示しているので、どういう筆遣いをすればいいのかということが、その朱墨を見れば一目でわかるというものである。子供たちの筆の動きについて、わかりやすく示したのが朱墨だと捉えている。</p> <p>ホッチキスで留めてある中綴じについては、研究会でも話題になったが、想像でしかないけれども、後々になって、外して（ばらして）、一枚ずつ手本として使えたりするような効果もあるのではないかという意見も出た。書写だけサイズが少し小さいが、これについては、机の上に置きやすいようにといった配慮もあるという意見も出された。</p>

3 協議・採択

会 長	<p>□ 続いて、書写についてご意見をいただきたいと思う。</p>
委 員	<p>■ SDGsの取り組みで、ペットボトルで細筆を洗うというのがあるが、一番わかりやすく書かれているのが、光村ではないかなと思った。</p>
委 員	<p>■ 非常に単純なんだが、光村の表紙に猫がおりますけど、この猫が、全学年のとめ・はね・はらい、数とか本とか言うときに、必ず全学年でついている。非常に子供たちが楽しく、この猫ちゃんと一緒に、毛筆をしていく。そんなことが想像できるような教科書になってる。これは楽しく書写に触れるという意味では、非常にいいんじゃないかなという思いがした。</p> <p>低学年の全ての教科書がないので少し見えないけれども、1年生を見ると、非常にわかりやすく、とめ・はね・はらいが子猫を使って紹介してある。</p>
会 長	<p>□ なるほどそうだ。新しい視点だと感じた。</p>
委 員	<p>■ 全部は見えないけれども、光村は例えば、20ページに、今月のテーマはジェンダーのことが書いてあったり、24ページには、目指せ新聞記者の中で、アイヌ民族のことが書いてあるとか、さらっとこういった内容を入れ</p>

委員	<p>てるところが、大変いいなあと感じた。</p> <p>■ 前回採択の会社がいいのではないかといい意見を申しあげたが、自主的に自分で教科書を見て、気をつけるところを理解して、取り組むということていくと、教育出版のような、具体的な注意点がたくさん述べてあるようなところは、主体的な学びという面ではいいのではないかと感じた。</p>
委員	<p>■ この三つの中で、唯一、はがきの書き方が書いてあるのが、教育出版の教科書なんです、最近子供たちは葉書を書くことが少なくなったりしていることもあるので、親としては、こういうはがきの書き方が学べるようになると、少し社会性が身につくんじゃないかという感じで思った。</p>
事務局 委員	<p>□ 光村図書に関するご意見と教育出版に関するご意見が出ている。</p> <p>■ 先ほど国語の教科書との関連性はないから、どこを採択しても問題ない説明があったが、見てみると、教科書で後半に出てきて、後で習う漢字について、前半の最初の方では書写では使用しないような、そのような配慮がどの発行者にもあるのではないかと感じる。国語と書写の教科書が違くと、内容的には大きな問題はないが、細かな点では、少し習ってない文字が先に出てきたりということもあるのかもしれないと感じたので、国語と同じものがないのではないかと思う。</p>
事務局	<p>□ ここで採決したいと思う。4つの意見は現行の光村図書ということだが、教育出版というご意見が2名ほどあったので、その二つで採決をさせていただきたい。現行の光村図書を引き続き採択したいと思われる方、挙手をお願いしたい。(挙手多数) 挙手多数でありますので、そのように決めさせていただきたいと思います。それでは書写についても、現行と同じ光村図書ということにさせていただきます。それではここで10分間休憩。</p>

【算数科】

1 専門委員説明

2 質疑

委員	<p>○ 延岡市も複式を有する学級あり、そういった学級では、間接指導の際には、自分たちで学びを進めていかなければならない状況がある。子供たちがそういった習熟を図る上で、扱っている問題の数や内容などに、各者の特徴があれば教えていただきたい。</p>
回答	<p>◆ 各者、練習問題・補充的な問題を多く記載している。ただ、ページ数は</p>

委員	<p>若干違っており、日文が一番多かった。その次が、啓林館、教育出版の順番になっていた。ただ、前回の教科書と比べて、啓林館と、東書の方は、若干そのページが減っていた。問題の数は把握できているが、複式の対応という点では、調査できていない。</p>
回答	<p>○ 教科書会社によって教科書の大きさが違うものと、上下一緒になってるものと、上下別々のものもあるが、その点については何か内容とか量とか違いがあったら教えてほしい。</p>
委員	<p>◆ 大きさについては、学校図書だけ若干大きくなっており、見やすくという視点でここ一者だけがこの大きさになっている。上下に分かれているところが東京書籍、学校図書の2者になっている。量的に言えば、日本文教出版が1番ページ数が多くなっているが、啓林館、日本文教出版、東京書籍については前回の教科書より、ページ数は若干減っている。総ページ数も東京書籍と啓林館の方は前回よりも減っているが、他のところは全て増えていた。</p>
委員	<p>○ 例えばQRコードの数とかはどうなっているのか？</p>
回答	<p>◆ QRコードの数は今回かなり増えており、特に啓林館が一番多くて、啓林館が1, 614個あった。それ以外のところでは大日本図書が1, 445個。東京書籍1, 450個、他のところは610、591とかであった。QRコードを含めた2次元コードの方がかなり増えていた。</p>
委員	<p>○ QRコードのことだが、他の教科も同じだけれども、QRコードの数が増えてきており、結局そのQRコードを授業の中で使うとなると、タブレットなど手元に置いて、教科書を置いて、ということになる。</p>
回答	<p>そういったときの指導上留意しなければいけない点、どうやってそれを活用していこうとするのかという点、その授業の内容を子供たちにどのように教え込んでいくのかという点、などについて、各教科書会社の違いから、メリットとデメリットなどはなかったのか？</p> <p>◆ 各者見てみると導入段階で使うところ、展開そして終末の練習問題等で使うところと、いろいろ各者の違いや特徴はあったけれども、各者とも練習問題・発展問題、問題解決のヒント、図形等の学習のまとめなどを提示して、学習の支援が充実するような工夫はなされていた。</p>
委員	<p>教師が子供たちに提示するためのQRコードと、子供たちが最後のまとめの段階で、それぞれの習熟に応じた問題に取り組むQRコードとがあるので、その辺りは授業者が、事前にどこで活用するかということ、しっかりと研究した上で授業に臨むことが大切だと感じた。</p>
回答	<p>○ 単元ごとの学習のまとめというところがあるが、教科書会社によっては、非常に丁寧に振り返りが構成されているところもあるが、そのあたりでの充実度の違いについて、何か特徴があれば教えていただきたい。</p>
委員	<p>◆ 振り返りのところの違いというところまでは、あまり話題にならなかったが、各者振り返りについてはきちんとまとめられていて、そこまで大きな</p>

委員	<p>違いはなかったと感じた。</p> <p>○ この場では5年生の教科書での説明だったが、全教科を全学年を見通して教科書を見たときに、入門期の1年生の教科書では、それぞれ入門期に対する特徴や配慮があったと思う。それぞれの会社の低学年の教科書について、どのような特徴があったのか、教えていただきたい。やはりオーバーサイズの方が操作はしやすいし、数字とか文字、イラストのバランス、そういったものを考えるときに、それぞれ教科書会社で、特徴というか、工夫がなされているなという気がした。</p>
回答	<p>◆ 各者とも1年生の教科書には気を配ってると思った。違いとまでは言えないが、ノート指導のページは啓林館は2年生からということになっていたが、他のところは1年生からノート指導のページについて掲載していた。啓林館がなぜ2年生からなのかということまでは調査はできていない。1年生の頃からノート指導については丁寧に指導していくという、発行者が多いのではないかと思ったところだった。</p> <p>特別支援教育に配慮された紙面作りとか、ユニバーサルデザインに配慮した紙面作りといったところが、各者とも大変工夫されていると感じた。</p>
委員	<p>○ 教科書の一番最後のページ辺りに、付録みたいに、切り取って自分でいろいろこう操作する内容が各教科書全てに入っていて、少し驚いた。昔は教科書を切るなどと言われていたが、今は違うと思った。他の全ての学年でもやはり同じようなつくりになっているか？</p>
回答	<p>◆ 他の学年も、全て同様の切り取って使えるものが掲載されている。</p>
委員	<p>○ 個人的には、もうこの啓林館がいいかなという感じだが、啓林館の教科書を見通すと、1年生から4年生まで分冊で、5年・6年は合冊になっている。なぜかなあ思ったが、専門委員からの意見はなかったか？やはり高学年になれば、一年間の振り返りがあるのか、先ほどスパイラルの学びの話もあったが、そのあたりに繋がっていくのかという思いもあるがいかがか？</p>
回答	<p>◆ 調査でもそれも話題になった。低学年はやはり、ランドセルに入れて持ち運ぶとしたときに、軽くなるようにという配慮で、上下に分かれているんじゃないかとかいう意見が出た。詳細の調査はできてはない。逆に5・6年生にであれば、重くても持ち運びが可能ということで、合冊になっているといった話は出た。</p>

3 協議・採択

会長	<p>□ それでは協議に入りたい。皆さんからご意見をお願いしたい。</p>
委員	<p>■ 私、全学年分見せていただいたが、先ほどのスタートカリキュラムの話は別冊になっていた。啓林館は2年生からしかノートは出てこないとの説明</p>

	<p>だったが、1年生は入学時期のつなぎは別冊になっており、そのような特別なスタートブックというものが別に用意されていた。配慮が行き届いており、逆に少し驚いた。</p>
委員	<p>■ QRコードについては、啓林館は1600あまりと説明があったが、最初に質問された、複式に指導できるようなQRコードについては、全社代表的なものを見たが、啓林館などは、しっかりと複式指導の間接指導で使用できるようなつくりで、学びの解説が行われるようになっていた。すごいなあと感じたし、これを使えば、10分ぐらいは、ずっと先生の指示で学びを進められるので、複式では、とても使い勝手がいいと感じた。世の中は進んでいると実感した。</p>
委員	<p>■ 啓林館がやっぱりいいなと思った。他の発行者と比べたときに、図と文字とのバランスがすごくいいなと思った。他の発行者のものは大きかったり小さかったりで、慣れるのに大変かなという気がした。そのバランスは啓林館が非常に優れていると感じた。</p>
委員	<p>■ 先ほど振り返りのところの話をさせてもらったが、どこもいいけれども、啓林館が一番充実してると感じることに、教科書作成に関わる先生の中に、啓林館には宮崎の指導教諭の先生が入ってる。使い慣れている啓林館であるので、そこはやはり大事にしなければいけないと思った。</p>
委員	<p>■ 先ほどの分冊の話と一緒になると思うが、やはり高学年になると、しょっちゅう前の学習を振り返ることが必要であるので、分冊よりも一緒の方がいいと思う。また、巻末の切り離しの付録については、実際現場で使っているときに、あまり多くない方がいいと思っていた。だんだん汚くなってくると、本当はそれではなくて、他のものを使った方が、よほどいいというものが、経験上たくさんあった。そう考えるとあんまり多くない方が良く、啓林館あたりがバランスがいいと感じたところだった。バランスの問題だ。</p>
委員	<p>■ QRコードの部分を見てみると、啓林館が若干大きい。それだけたくさん使っているということだと思うが、そのQRコードの配置場所もうまく配慮して入れていると感じた。</p>
委員	<p>■ 学校の先生方には、めあてをしっかりと位置づけ、まとめをきちんと確認しなさいという指導をしているが、半分ぐらいの発行者はめあてとまとめが、どの単元でもしっかりとおさえられているが、そうでない発行者もあるので、やっぱり指導する際には、めあてとまとめがきちんと押さえられている教科書が使いやすいのではないかと思った。</p>
会長	<p>□ それでは他に意見がないようなので、今出た意見をまとめたい。ほとんどの方の意見は、現行の啓林館でいいのではないかと行ったものだったが、現行の啓林館がよいと思う方は挙手をお願いしたい。(挙手多数) それでは、算数については、現行の啓林館を採択するということにしたい。</p>

【 図画工作科 】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 一点だけだが、中学校のときにも話題にしたけれども、美術品についてである。本物の作品を目にする機会が、特に県北の子供たちは少ない。身近にないので、そういった意味からも図工の授業等を結びつけてやるのが、非常に大切じゃないかなと思う。この2者の教科書の中で取り扱ってる作品の点数は、何点取り扱ってるのか、分かれば教えていただきたい。
回 答	◆ 鑑賞についての写真や図表については、開隆堂が写真が33、図表が1。日本文教出版は写真が125、図表が5となっていた。ただ二次元コード等から鑑賞できるという工夫もなされている。
委 員	○ 関連になるが、題材の中で、やはり鑑賞の取扱いがあるが、その中に、五、六年上では、開隆堂は8、それから日文の方は3、というような数字が出てきている。全学年を通して37と17というふうに、発行者で違うところがあるが、これは二次元コードで補っている教材の数でいいのか？
回 答	◆ そうである。二次元コードで鑑賞できるようになっている。
委 員	○ 最近の教科書は、絵に表すとか、工作とか、そういう物が少なくなってきたなあと感じる。逆に言うと、造形遊びとか、本県ではなかなか取り組まれている現状もあるのではないかと思いついて見たいけれど、先生方が取り組みやすい造形遊びというようなものが、結構たくさん盛り込まれているようにも思った。その辺りについては協議の中ではどうだったのか？
回 答	◆ 2者とも、学校内であれば、学校にある木とかを使って造形遊びをしたり、校内のいろんな場所に行き実践したりというように、2者とも具体的に表わされているので、先生方も取り組みやすいのではといった意見が出た。
委 員	○ 対象がそのような自然とか、そういったものを取り扱ってる内容が、結構たくさん入っていると感じるが…？
回 答	◆ そういう部分が今回増えてると感じる。やはりSDGsにつながるのではないかといい意見も出ていた。使っている材料等も、廃材を使ったりとか、できるだけあるものを利用するという形のもので出ており、そのような関連もあるのではないかという意見も出されていた。
委 員	○ 今見て、日文の上の54ページには、ICTでチャレンジというものがあるが、今後は、コンピュータを使って表すという内容も、増えてきていくんだろうと思うが、その辺の取り扱い辺りはどうだったのか？
回 答	◆ どちらもタブレットを使った工夫がなされている。例えば開隆堂では、63ページにタブレット端末を使おうというところがある。先ほど言われたように、日文では実際にICTにチャレンジして、模様を作ったり、写真で撮って、それを利用するといった工夫がなされていた。

3 協議・採択

会 長	<input type="checkbox"/> それでは協議に移りたい。
委 員	<input checked="" type="checkbox"/> やはり図工では写真とか、参考にされる図が多いということが重要で、やはり日文の教科書がいいなと思った。
会 長	<input type="checkbox"/> 写真や資料が豊富であるということである。他にいかがか？
委 員	<input checked="" type="checkbox"/> 私も自分がいいと思った一つの理由は、子供たちが造形活動するときの基本的な道具の使い方や、またはその用具を使った後の安全面など、といったことについての配慮があるということで、日文がいいと思った。やはり子供たちがつつい熱中してしまい、安全面を忘れがちになるので、そのようなことを意識するような作りになっているのは、助かると思った。
会 長	<input type="checkbox"/> 配慮や安全面への対応ということであるが、他にいかがか？
委 員	<input checked="" type="checkbox"/> 図画工作の日文はたくさんところが採択しておられる。一番印象的なのは、ついてるものを利用した作品というものがあり、これは大きく視点が変わるということ意識でき、今の時代に沿ってるような気がした。ただ開隆堂は北諸が採択されているが、経験の浅い先生や専門外の先生にも使えるからこそ使ってほしい、という文面が参考資料にもあったため、これもまた捨てがたいと思った。
会 長	<input type="checkbox"/> どちらにも良さが見られるということである。
委 員	<input checked="" type="checkbox"/> 私は日文を長く使っていたので、日文の方に使いやすさを感じるが、要するに題材を設定したりする場合に、多様な題材の例が盛り込まれていることが重要で、そこら辺りについては、先生達にとっては大変使いやすいのではないかと、今回も感じたところである。
会 長	<input type="checkbox"/> 他に意見がないようなので、採決したい。ほとんどの方の意見は、現行の日本文教出版が良いのではないかとということだったが、現行の日本文教出版を採択するということに異議のない方は挙手をお願いしたい。(挙手多数) それでは、図画工作については日本文教出版を採択することにしたい。

【理 科】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	<input type="checkbox"/> ○ スティーム教育を取り扱っている発行者があるとの説明だったが、スティーム教育に関しては5社、取り扱いに特徴があるのかどうか教えてほしい。
-----	--

回 答	◆ スティーム教育を特化して挙げているところは啓林館である。6ページでスティーム教育を取り上げているが、様々な考え方とスティーム教育を合わせたような内容についても、意識的に取り上げており、他のところでは確認できていないものである。
委 員	○ これらの教科書会社の中で、本県の自然、地形とか様々あると思うが、そういった本県のことを扱っている例等があれば教えてほしい。
回 答	◆ 本県については、例えば教育出版の108ページ、および啓林館の22ページで本県に関係する地域を取り上げている。どの発行者も地域に関連付けて工夫されてはいるが、この5年生への教科書においては、この2者で扱われている。
委 員	○ その地域性のところに関わってくるが、防災や減災、地域保全等については、各者取り扱われてると思うが、取り扱いの差は、特段ないのか？
回 答	◆ どの発行者も地域性を大事にしており、SDGsと関連している部分もどの発行者においても見られる。防災や減災についても、どの発行者においても取り上げている。例えば学校図書の93ページ、大日本図書の59ページなどは、一例だが、特別に防災マークのようなものを設け、ここは大事であると児童が意識できるような工夫もなされている。
委 員	○ 先ほどの質問と関連するかもしれないが、このような防災の写真などを見たときに、自分が過去被害に遭った被災したという子供たちもおり、この写真見ると少し心配だ、様々なことを思い出してしまうのではないかといったことも予想されるが、研究する中で、そのような心配について議論はなかったのか？
回 答	◆ PTSDに関しては、やはりとても大事な視点になってくる。ほとんどの発行者でにおいては、まず防災については、気象の内容も扱っていることから、大きな台風のことについての防災、特に本県の北部地域にも関連するようなどころだが、流れる水の働きのところ、洪水のことや河川の増水のことなどを取り上げている。大日本の58ページに倒木の様子や電柱の倒壊などの写真が掲載してあるが、子供たちの中には特に配慮が必要な子供もいるため、家屋などの倒壊も含め、意識的に配慮する必要があると考えている。
委 員	○ 管内では理科の専科の先生がいる学校と、理科の専科がない学校があると思うが、実験などの説明とか、非常に子供たちにわかりやすく、学びやすい実験の手続きが説明してあるけれども、そういった視点で見たときに、各発行者には何か特徴があるのか？
回 答	◆ 各発行者とも、どちらかという教科書の中に、そういう実験のコーナーとか、器具の取り扱い方とかがまず掲載してあり、安全面については十分に配慮されるような取組が見られます。また二次元コードも、その実験のやり方を読み取ることができるページもあり、理科専科としての経験が少ない先生方も、それぞれの単元におきまして、導入・実験・観察・結果・考察

委員	<p>とかの流れが、しっかりとできるようなつくりになっており、経験値の少ない不慣れな先生方でも、指導しやすい工夫がなされている。</p> <p>○ 今、教科書を見比べているが、理科でよく使う言葉として、学習問題があり、予想があり、実験があり、結果があり、結論である。それを、しっかりと押さえている発行者は大日本図書と教育出版しかない。</p> <p>前回の全国学力調査の理解の出題で、学習問題に対して結論をどう導くかという問題があったが、発行者によってはまとめという書き方になっている。これは論外だと思う。だからやはりこういう結論、要するに理解の部分をしっかり押さえているということがとても大事だ。さらに、結論の書き方というものもあるが、それが本県の場合はあまりできてないという結果も出ている。だから、そういった部分はやはりおさえるべきだと感じる。</p> <p>今言った2者については、きちんと押さえられているが、他の発行者はまとめという言葉でくくってあることについて、何か話は出なかったのか？</p>
回答	<p>◆ 研究会の中では、そのあたりのまとめについては出なかったが、研究の中では、このまとめの中で良いかと言われれば、その実験結果、考察、結果から考察を導くとか、そのようにしながら事象を言葉でまとめていくということは大事な視点であるということは議論した。そのためには、教職員としての意識や指導力も高めていく必要があると考えている。</p>

3 協議・採択

会長	<p>□ 結果と結論の関係は非常に難しい捉え方であるが、ここで、採択に向けての協議を行いたい。意見をお願いしたい。</p>
委員	<p>■ 6年生の教科書を見せてもらったが、学習問題を作る前段階の活動を、大日本図書と教育出版はとっても大事にしている、いろんな活動を通してそこから疑問を引き出し、こんなふうにしてみたいというところまできちっとしている。その上で、学習問題を作って、結論まで行くというような、本当にわかりやすい学習の進め方をしているのが、大日本と教育出版だと感じた。</p>
会長	<p>□ 2者の進め方がわかりやすいという意見だったが、他にいかがか？</p>
委員	<p>■ 先ほど問いを持つという意見が他の教科でも話があったが、問いの持たせ方という視点で見ると、やはり啓林館が丁寧に作ってあると感じる。</p>
委員	<p>■ 関連だが、予想とか、考察という言葉も、単元によって出てきたり、出てこなかったりしている。いくつかの発行者にはそういった傾向が少し見受けられるが、そんなことにも配慮しながら、採択をしていかななくてはいけない。特に本当に若い先生方も増えてきているので、本当に教えやすい、小学校から中学校への繋がりとか、様々なことを考えていくと現行がいい。</p>
会長	<p>□ 現行の方が使いやすいのではないかという意見だった。</p>

委員	<p>■ 前回の採択のときに比べると、この理科に関しては、どの発行者もずいぶん頑張っているなというのが正直な印象。それぞれに特徴があり、どの会社も魅力的なものをちゃんと持っていると改めて感じた。</p> <p>その中で、前回の採択の理由を今日いただいた資料で見たが、啓林館を採択している理由の一つとして、やはり実験・観察に必要なものやその際の注意事項等がわかりやすく示されており、安全面に配慮した工夫が見られるということが、前回採択の理由として挙げられている。</p> <p>やはりコロナ禍の中で子供たちが、なかなかリアルな体験を積み重ねてきていないということを考えると、中学校で硫化水素によって救急搬送されるといったことも報道されていたが、やはりこの理科の実験器具を使う中で、この安全面を非常に大事にするという理由で、我々はこの啓林館を採用してきたところがある。見る限り、その部分はしっかりと担保されており、やはり啓林館を採択する方が、継続する方が、よりそういった配慮を大事にするということに繋がっていくのではないかなと思っている。</p>
会長 委員	<p>□ 安全面の配慮やコロナ禍での対応の関連であった。他に意見はないか？</p> <p>■ 本町は、特に学級の人数が少ない中で、また山間部の学校として、いろんな話し合い活動や、また経験がしにくい分野というか、そのような内容単元も多くあるので、そういった面ではQRコードなどで動画などを視聴できると大変有り難い。そういったものが具体的に多くあると、複式学級の中でも多様な意見が出やすい。また、体験を実際にできなくても見ることができるということで、そこが多い方がいいと思った。</p>
委員	<p>■ 啓林館の教科書には、本県の鳥を取り扱った資料数というのが8個あり、最も多いと書いてあったが、そういった地域にあったものの方がいいと思った。</p>
会長	<p>■ 現行の啓林館と、大日本図書や教育出版という意見も出ているが、まずはその3者に絞りたいと思うが、それでいいか？いい方は挙手をお願いしたい。(全員挙手)</p> <p>では、その3者に絞って採決したい。どれも過半数を越えなければ、再度上位2者で協議をさせていただきたいと思う。3者の中で、現行の啓林館の方が良いと思われる方は挙手をお願いしたい。(挙手多数)</p> <p>では挙手多数ですので、こちらに決めさせていただきたいと思う。理科については、現行と同じ啓林館を採択するということにしたい。</p>

【社会科】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 説明は社会科の教科書4年生だったが、6年生の教科書では、人権同和問題等については3者の特徴があるのか、また、これまで、この北部地区の中でも様々な学習が行われてきていると思うが、状況を踏まえた学習になっているかどうか、そのような視点で見たときに、この人権同和教育に関する内容の取り扱いについて教えてほしい。
回 答	◆ 人権問題については3者ともに、江戸幕府の身分制度、新政府による政治、全国水平社成立、女性の地位向上による運動、基本的人権の尊重に関して記述されており、人権問題に関わる内容につきましては3者ともそれぞれ全て含まれている。3者とも統一的な表現になっており、特にどこが特徴的であるということはないと思っている。同じようなレベル感だと捉えている。
委 員	○ 教科書を全部見たときに、3年生から6年生まで全ての学年で、日文では結構宮崎県が取り入れられていると思ったが、特に5年生のところでは、畜産を取り上げていて、この県北地区の西臼杵もそうだが、畜産関係はかなりの力をいれてやっている。美郷町もそうだが、そのような取り扱いについて日文は頑張っていると感じた。他の発行者も宮崎県の取り扱いについては同様なのか？本県の取扱いについて質問したい。
会 長	□ 各発行者の5年生や6年生の教科書は用意してあるのか？ 事務局で用意できるのであれば、参考までに配付していただきたい。
回 答	◆ 東京書籍については、5年生の食料生産の中で宮崎県の地図上の位置にキュウリを示したり、野菜の生産額、肉牛の頭数、キュウリの生産量等を、グラフや資料等で扱っている。また、宮崎県の肉牛の飼育の工夫や口蹄疫からの工夫について、1ページ特集で取り上げられている。 教育出版については、3年生の資料の中で、宮崎県のピーマンの絵が、また、5年生の食料生産の中で、地図の中に宮崎平野で豚、ピーマン、キュウリ等の言葉が掲載されているのみである。日文は4年生で、112ページから115ページまで、火山による災害での宮崎県高原町の取り組みが、4ページにわたって取り上げられるとともに、5年生106ページから111ページまで、6ページにわたって選択教材ではあるが、西諸県地区の肉牛の生産を、口蹄疫からの復興ということで、特出しして取り上げている。
委 員	○ やはり社会科と言え、本日は4年生の教科書での説明だが、5年6年など、いろんな学年での使用データが非常に大事になってくると思う。様々なコンテンツなどについて、それぞれの教科書会社で出していると思うが、量とか内容とかで違いがあれば教えてほしい。
回 答	◆ デジタルコンテンツの話でよろしいか？
委 員	○ それで良い。
回 答	◆ デジタルコンテンツについては、どの教科書会社も現在は二次元バーコードをかなり活用している。説明の中にあっただが、例えば地図であれば、白

委員	<p>地図に切り替えるとか、もしくはテーマごとに切り替えられるなど、二次元バーコードが数多く使われており、一人一台のタブレットを使いながら、授業を進めていけるように視覚的なものが、各教科書会社同じように工夫がなされていると感じている。</p>
回答	<p>○ 現在の教科書を採択している理由の一つに、複式学級をはじめとする少人数の学級においても、適切に資料の活用ができるような工夫が見られる、つまりたくさん写真やグラフなんかの資料が掲載され、精選されているという理由で採択されているわけだが、そういった視点で見たときに、例えばこの3者、デジタルコンテンツも含めて、こういった資料、やはり差や違いがあるのか、それともそんなに遜色ない、いわゆる複式学級においては、一人で調べていかなければならないということ考えたときに、社会科のその資料には、そんなに遜色はないのか、伺いたい。</p> <p>◆ 3者とも、教科書の冒頭部分で、社会科の学習の進め方ということと、社会科の見方・考え方、について、表現は違えども全て網羅されている。このことは社会科学習のキーワードにもなっているが、子供たちが問題解決的な学習ができるように、学習の過程に沿って、つかむ・調べる・まとめるなどの活動については遜色はないと思っている。</p> <p>取り扱う内容については、地域性とかに特色があり、宮崎のことを多く取り扱ってるところもあれば、全国的な視点から物事を考えさせるというようなものもあれば、違いはあるが学習の進め方においては遜色はないと思う。</p>

3 協議・採択

会長 委員	<p>□ それでは採択のための協議に入りたい。意見のある方はどうぞ。</p> <p>■ 説明を聞いて、学習の進め方であるとか教科書の構成であるとか、そういったものにはあまり遜色がないということだった。どれも甲乙付けがたいものであるという感じはするが、その中での判断材料の一つとしては、やはり資料の数という部分が、かなり差があるという感じがする。特に単元等として取り扱っているページ等を考えたときには、日本文教出版の方が、10ページ以上を割いているということを考えると、やはり地元地域性ということからすると、日本文教出版の教科書については、判断材料としての一つの考え方があってはならないかと思う。</p>
会長 委員	<p>□ 地元の資料という点での意見であった。他にないか。</p> <p>■ 一番最初にだされた意見として、現在使われている教科書を重視しながら、という考え方でいけば、東書ということになるが、県内の採択状況を見ると、この地域だけが東書で他は全て日文である。そう考えると本県でなぜ北部だけ東書なのか、県内全部合わせて日文の方がいいのではないかという</p>

委員	<p>気もする。今までの話を聞いてそのように思った。</p> <p>■ 転校するとすれば、また教科書も変わってしまうということになる。宮崎県をこんなにたくさん取り扱ってくれている教科書があるのあれば、そっちの方がいいんじゃないかなという気がだんだんしてきた。先ほど、そういう視点で地図帳の説明も聞いたが、東書でないと困るというような状況は何もなさそうなので、思い切って変えてもいいのかなと思った。</p>
会長	<p>□ 現行のものを中心としながら議論していただいているように思うが、変更するという事になって問題はない。しっかりと議論を尽くして変更するということが大切だと思うので、意見をたくさんいただきたい。</p> <p>最終的には、多数決で決定させていただきたい。</p>
委員	<p>■ 4年生の方の教科書でいくと、日本文教出版の方、一番最後のところにSDGsのシールを貼るような形になっているが、SDGsに関して他の出版者にもある。しかし、このような形で自分たちで調べて、シールを貼るというような活動ができる教科書は、日本文教出版であると考えた。</p>
委員	<p>■ どちらの教科書でもいいのだが、一つはやはり先ほど別の委員がおっしゃったように、宮崎の資料がいっぱい出てるということは、非常に魅力的だと思う。また同時に、日本文教出版の方は、最初に4年生も5年生も学習の進め方ということで、本当に丁寧に、わかりやすく、イラストを使って、写真を使って書いてある。会社としての社会科の進め方なのかなと思うが、そのあたりを大事にしてるところは魅力だと思う。</p>
会長	<p>□ 他にいかがか？</p>
委員	<p>■ 4年生の202ページには、北部の市町村が五つも特出しになっているコーナーもあり、この圏域の弾みにもなる。この圏域で何かしようということはまだできていないが、今後の取組の弾みにもなると思うので、ぜひこういう内容を取り上げてもらっている教科書を使わせていただければと思う。</p>
会長	<p>□ ありがとうございます。他にいかがか？</p> <p>それでは、ご意見が他になれば採決したい。今までの意見をお伺いしていると、本県を扱ったもの、北部を扱ったもの、そのような教材が非常に充実しているのは、日本文教出版であること、さらにSDGsの観点や学習の進め方、そういったことでも丁寧に示されているのが、日本文教出版ではないか、そのような教科書を採択すべきである、といった意見が多かったように思う。</p> <p>現行のものを変えることになるが、日本文教出版社を採択することに異議のない方、つまり日本文教出版を採択したいという方は挙手をお願いしたい。(全員挙手)。それでは社会科につきましては、現行の東京書籍ではなく、日本文教出版社を採択するということにしたい。</p>

【 地 図 】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 今、社会科の教科書と地図帳との表裏一体についてだが、一体で考えた方がいい場合もあるかと思うが、2者出ていることから、地図帳の使い方などにも関連して、使いやすいとかいったメリットやデメリットについては何かあるのか？
回 答	◆ どちらの地図も東京書籍、帝国書院がかなり工夫されており、学習の進め方については、両者とも冒頭部分に丁寧に掲げている。大きな違いとしては、地図帳の例えば九州を開けて、見比べていただくと、特に山地の部分を見るとわかると思うが、どちらかという、帝国書院は山の高さとか、標高を色使いで表現しており、東京書籍の方は、色を少し抑えながら、ユニバーサルデザイン等の考えも取り入れ、工夫しているところである。ここが際立った違いだと思う。
委 員	○ 現在使われている地図帳が帝国で、社会科には帝国という教科書がないわけだが、東書には社会も地図もある。今質問されたように、関連性という部分で、同じ会社の方がいろいろ融通が利くとか、関連性が図られているとか、そういったことはあるのか？
回 答	◆ 今現在使用されている教科書も、帝国と東京書籍ということだが、学校現場を見たときには大きな混乱等は特にはない。どちらでもいい。
委 員	○ 先ほどの九州の地図のところをずっと見ていたところ、高速道路が日之影町はできているが、帝国の方は掲載されており、素晴らしいと思うが、逆に東京書籍には出てない。そういった古い情報、新しい情報についての研究はなかったのか？今の一つの例だけでも感じたが…。
回 答	◆ 委員からのご指摘、少しびっくりした。そこまで詳細には研究できていなかった。申し訳ない。

3 協議・採択

会 長	□ 続いて、地図について協議をお願いしたい。特に先ほど高速道路について意見が出ていたが、そのようなことを含め、他に何かないか。
委 員	■ 実は日之影町を比べると、その高速道路の他に、もう一つ特産品で違いがある。東書の方には出てくるが、帝国の方には出ていない。「めんぱ」なのだが、実はもうその特産品を作ってる人は亡くなって、今はいない。だから、資料がだいぶ古いなと感じた。違う情報を子供たちに知らせるのは、本

会 長 委 員	<p>来よくないのではないかと思った。</p> <p><input type="checkbox"/> 他にいかがか？</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 先ほどQRコードを読み取って調べたが、帝国の方の、日本各地の降水量というところの項目が出てくるけれども、35ページのQRコードを読み取ると、いろんなが出てくる。北九州のことなども出てくる中に、各地の情報みたいなものも出てきており、調べると、全国の中にも、宮崎県の情報も載っていたりするものもある。宮崎の最高気温と降水量のようなものが載っているのをみると、こちらには確かに宮崎のいろんな情報も多いのではないかなと思った。</p>
会 長 委 員	<p><input type="checkbox"/> QRコードの中でも取り上げられているということであった。他に？</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 統計資料だが、たった1年の違いではあるが、帝国書院の111ページ112ページと、それから東京書籍の83ページと84ページに、統計資料があるが、データの数字が違っている。帝国の方は、2021年だが、東京書籍の方は2020年、たった1年だけれども、1年間違うというのは大きなこと。だからデータが新しいということが言えると思う。</p>
委 員	<p><input checked="" type="checkbox"/> 両方の地図の扉というか、地図の見方のところを見てみると、東京書籍に比べて帝国書院の方が見やすいと感じた。地図を使うのは4年生からだが、4年生の学年を考えると、帝国書院の方が見やすいと感じた。帝国の方がさっぱり感があり、見やすさもあり、そしてコンパクトにできてると思った。</p>
会 長 委 員	<p><input type="checkbox"/> ありがとうございます。他にいかがか？</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 9ページと10ページの国産のものなのですが、この航空写真と地図と一緒に両方載っていたりするので、学習するときに、これがこうなんだっていうのが、目ではっきりわかるので、理解しやすいかなと思った。</p>
会 長	<p><input type="checkbox"/> 見せ方の工夫ができているという意見である。</p> <p>これまでの意見をまとめると、現行の帝国書院の地図の方が良いのではないかという意見が多かったように思う。現行のままでよろしいか？</p> <p>よろしい方は挙手をお願いしたい。(全員挙手) それでは、地図については現行通り帝国書院ということで採択をさせていただきたいと思う。</p>

【生活科】

1 専門委員説明

2 質 疑

委員	<p>○ まず根本的な、その基本的なことだが、小学校一年生の生活科の中で、教科書というものを実際にどれだけ使うのか？ほとんどは、それぞれの学校で単元を作ったりして、そこにあった教科・授業を組み立ててると思うが、授業を助けるために、教科書が使われているのかということが気になった。というのは、この本のサイズがそれぞれバラバラだが、もしかしたら、そのことも影響しているのではないかと思ったので。正直言うと、生活科の教科書はあまり使わないのではという気がしているところである。</p>
回答	<p>◆ 児童にとって見やすく、読みやすく、わかりやすい教科書というのが理想だと思う。1年生の上の生活科の教科書は、4月に配布されるが、下の方は2学期から配布ということになる。1年生のスタートにあたっては、文字が大きく書いてある。また言葉と言葉の間には、間隔を置いてあり、見やすい工夫が6社ともなされている。教科書を使うかどうかということについては、やはり教科書を使うことが基本ではあると思ったりしている。</p>
委員	<p>○ スタートと3年生への繋ぎということを考えてときに、幼児期からのスタートカリキュラム的なことは、全社どう扱われているのか伺いたい。また、2年生が終わって3年生になるために、どんなふうに繋ぐか、どんなふうに取り上げられているのか、ということについても伺いたい。</p>
回答	<p>◆ スタートカリキュラムに関連する記述は各者ともある。東京書籍であれば、ドキドキワクワク1年生というスタートカリキュラムになっている。各社とも10ページほど掲載されている。教科書の単元というのは、柔軟に組み替えて、児童や学校、地域の実態に応じたものにすることができると明記されている。3年生についての繋ぎについては、やはり深い学びであったり、主体的な学びの視点ということが、生活科の指導の中にも出てきている。振り返ることで自分自身の成長や変容について考え、自分自身についてのイメージを深めることで、3年生に繋がるものと解釈している。</p>
委員	<p>○ 全て成功体験とか、触ったり、見たりできればいいのだが、できないのがあったりして、教科書によっては、デジタルコンテンツが最初から入るところもあれば、少ないところもあるような気がする。各者で二次元コードやデジタルコンテンツの違い、量の違い等があったら教えてほしい。</p>
回答	<p>◆ 本地域は山間部、または海に近いなど、学校によって様々であるが、例えば、電車やバスなどの体験ができない、またはそのような機会の少ない地域の子供たちにとっては、実体験ができる二次元コードが役に立つ。全ての教科書に用意されているが、中には夏祭りということで、日向市のひよっこまつりの写真もコンテンツの中にある。このように、なかなか体験できないことの疑似体験もできると思っている。量に関しては、全社遜色ないと思っている。</p>
委員	<p>○ もう一つ、各者下巻の後ろの方にまとめられているものが、学びのポケ</p>

回 答	<p>ットだったりとか、何か辞典が入っていたりとか、取り外せるものがあったりとか、いろいろですけども、そういう工夫というのはそれぞれにあるのか？</p> <p>◆ 下巻の巻末には、やはり付録的なものがついてるのが各者あると思っている。その中でも取り外しができ、自由に持ち運びながら、観察もできるものも一者ある。どの者も遜色はないと思うが、取り外して持っていけるといところは利点であると思っている。</p>
委 員	<p>○ 多様性という観点から、イラストの中に、肌の色の黒い子がいたり、目の青い子がいたりということで、そのような点については、各者でどんな特徴があったのかなと思うが、いかがか？</p>
回 答	<p>◆ 特に光村図書の教科書は特徴的であったと思うが、いろんな肌の色というところにも配慮しているということが色濃く感じられた。それ以外の教科書の中には、いわゆるいろんな国の子供たちの写真がたくさん載っている程度であったと思う。</p>

3 協議・採択

会 長	<p>□ それでは協議に移らせていただきたい。様々な意見、ご質問があったが、それぞれのご意見をいただきたい。先ほど理科のところ、1年生の話があったが、この生活科の話ではなかったのかと思うが、いかがか？</p>
委 員	<p>■ テントウムシの話を考えていたんだが、その写真が見つけれない。</p>
会 長	<p>□ わかった。また、見つけれたら意見をいただきたい。それぞれに良さがあるのではないかと考えている。どなたからでもどうぞ。</p>
委 員	<p>■ 啓林館の一番最後の下の方、下の教科書の一番最後のところを見ると、幼稚園から、3年生になるまで、生活がどのように変化し、生活科という科目がどのように繋がって発展していくのかということが、写真と図でまとめられており、よく分かる。また、下の方には、保護者の皆様へという欄で、このような流れで生活科が、行われているというところまで、しっかりとまとめられていて、他の発行者の教科書の最後のページを、ずっと見比べているんだが、この取り扱いの仕方は、保護者へも伝わっていくし、他とは違う、いいところではないかという思いがした。</p>
会 長	<p>□ 生活科の一番最後、啓林館の3年生のステップブックっていうところに、保護者へのメッセージがあるという話だと思う。他にいかがか？</p>
委 員	<p>■ 全く個人的な考えだが、光村図書はご存知の通り、絵本作家のヨシタケシンスケさんが登場している。だから本当に入りやすいというのは、子供たちも絵本でよく見ている人の絵なので、何か自分と同じような感じで入っていきやすいというのを感じた。中身については他の活動と変わりはないと思うが、それがいいのか悪いのかもわからないけれど、個人的な感想である。</p>

会 長	□ 子供たちが絵本で親しんでいるところから、そのままずっと入ってこれるのが光村だという意見であり、後の写真とかもすごく気をつけてあった。すこしずるいなという感想もあった。他に何かないか。
委 員	■ 各者ともそれぞれ工夫がしてあり、大変素晴らしいと思いながら見させていただいているが、やはり地元宮崎や、季節感など、野菜作りをはじめ、そういう季節感を味わう題材として、啓林館さんの方のものが、いろいろと工夫してある。最初のところのびっくり図鑑とそれから学習図鑑、それぞれ分かれて、上下構成されているので、季節季節にあった、その時期の生活と関連させたり、先ほどあったように教科書的な使い方と、辞書的というか、そういう付録的な使い方とがあるのかもしれないが、やはり地元という季節感のある宮崎県であるからこそ、そのような資料的な使い方も、啓林館はできるのではないかと感じた。
会 長	□ 今意見が出ているのは、現在採択している啓林館と光村図書についてである。他にないか？
委 員	■ 単純だが、啓林館の方が一番小さいサイズである。それが一番いいかなと思う。1年生という低学年の子供の持ち物を考えると、コンパクトでいいかなと思っている。
会 長	□ ご意見がないようであれば、啓林館と光村で、どちらかでということでも採決することになるが、それでよいか？他に意見はないか？
委 員	■ 他の地区の教科用図書を見ると、啓林館と東書と半々である。東書の気になった部分は、上の28ページから、種をまこうというところがあるが、ここの種から芽が出て花が咲くという構成の仕方が面白い。すごく子供たちにとって面白いなと感じているし、上の教科書の最後のページには写真ではなくて、生き物図鑑という形で、今の朝の連続テレビドラマ小説じゃないが、牧野富太郎が書くようなイラストが出ているのは、逆に新鮮だと感じた。
委 員	■ 啓林館は、生活科ですので、家に帰っても活用ができる部分では、保護者との関連というのが非常に密なので、啓林館もいいと思う。 加えて、光村はやっぱりずるいと思った。ヨシタケシンスケさんという、有名な人を使って、使ってとは変な言い方なんだが、なんだかそちらの方に目が行ってしまって、本来の子供たちの、生活への興味関心というところに目がいかなかった。それも手法だが、どうかなと思った。
会 長	□ 東京書籍というのが新たに出てきたが、現在3者について意見が出されている。東京書籍は今一つだけご意見をいただいたが、他にも意見があれば一緒に土俵に乗せようと思うが、いかがか？
委 員	■ 教育出版社の上の10ページだが、この写真がいい。他はイラストで車いすに乗った子がいるんだが、あえて写真でいろんな子と一緒に載ってるのは意外だと思った。外国人らしい女の子がいたりして、みんな平等だという、多様性を感じる写真の1枚だ。印象的にはこれがすごくいいかなと思った。

会 長	□ 教育出版も出てきたが、もう少し意見がほしい。先ほど言われたように、日々、教科書を使って学んでるかと言われると、学校によってそれぞれ自分たちの地域に応じた単元や題材を組み入れながら、というところも多いんだと思うが、やはり参考にすべき教科書なので、いろんな視点からご意見をいただいて、決定することにしたい。時間はないがどうぞ。
委 員	■ また出版者が違うが、学校図書である。上の34、35ページを見ていただくと、物知りノートという括りで、見開き2ページ使っているが、生活科では、気づきとか、気づきを大事にすると言っていた。そういったところを丁寧に扱っていると思えた。教科書会社全社と比べている訳ではないが、ここを見る感じでは授業レベルで進めることができるのではないかと思った。先生方にとっては活用しやすいのではと思った。
会 長	□ 40ページ41ページにも同様の物知りノートが出てくる。 いろいろと、それぞれの特徴が見られると思うが他にいかがか？
委 員	■ 先ほどの啓林館は、保護者との連携といった部分が、とても充実してると言ったが、啓林館の最初のページなんだが、幼稚園のときの思い出っていうものが最初出てくる。これを保護者の皆様へというところで見ると、幼稚園と小学校の接続という部分を、非常に意識しながら作っていることが分かる。大切な視点だと思う。
委 員	■ 先ほど質問したが、幼児期からの接続の部分と、今度は3年生への繋ぎの部分というのは、生活科の中ではとても重要で、理科・社会に分かれていくあたりであることから、自分もそこは、大変気になったところである。
会 長	□ 意見をたくさんいただいた。そろそろ決めたいと思うが、東京書籍については一つのご意見をいただいた。学校図書についても、教育出版についても一つのご意見をいただいたが、それ以外はほとんど啓林館と光村についてのご意見だった。ここで絞り込みをしたいと思うが、いかがか？
	意見が全く出なかったのは一者だけなので、これはまず除いて、残り5つで決めたいと思いが、それでいいか。(全員納得)
	残りの5つのうち、一つずつ意見が出たのが、東京書籍・学校図書、そして教育出版の3つだったが、この3つについてはいかがするか？これら3つも絞って、残りの二つで採択することにするかどうかだが、残り二つに絞ってもよろしい方は、つまり、光村と、啓林館で決めていいと言われる方は挙手をお願いしたい。(全員挙手)
	それでは多数決ということで、光村か啓林館で決めさせていただきたい。
	啓林館については現在使っている教科書であるということや、入り口のスタートカリキュラム、3年生のステップ等が充実していること、つながりがよくできていること、季節感がよく表されていることといった意見をいただいた。また、光村図書については、多様性を尊重しているということ、絵本作家との繋がりがあり、子供に親しみやすいということ、巻末の資料であっ

	<p>たり、季節に応じた写真のような切り離しができるような工夫がしてあることといったご意見をいただいた。</p> <p>どちらかで決めさせていただきたいと思うが、心の中の整理をしていただきたい。それでは最初に、現行の啓林館からお伺いしたい。啓林館が良いと思われる方は挙手をお願いしたい。(挙手多数) ありがとうございます。既に挙手多数だったので、現行の啓林館で決めさせていただきたい。</p>
--	--

【 保健体育科 】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 地域に関する視点でそれぞれご説明いただいたが、例えば漁港とか、農業地帯とか、あるいは中山間地域とか、そういう地域の例を取り上げているようなところはなかったのか？
回 答	◆ 全体的には、ある程度の大きなレベルの市などの保健的な活動について、どこの発行者でも取り上げられていたので、山間地域など、様々な地域の活動や取組の状況などについては、記述はなかった。
委 員	○ 心の発達の部分の教育については、どんな違いがあったのか？自分の子供にそのような障害があるが、授業の中で、そういった心の部分に対して、どのように指導していくのか、違いがわかれば教えていただきたい。
回 答	◆ 心の発達ということでは、不安や悩みなどへの対応という部分もあり、各者とも、変化していく社会に対応することができるように配慮してある。また、発展的な資料として、そのような部分を取り扱ってるところも多いと思った。しかしながら今日、心の部分を含めて、健康的な課題というのは、多種多様にわたっており、一つ一つの内容については、各発行者で掲載量には多少差が見られるような状況がある。各者ともに共通して取り上げてあり、目次のところには全て出ているが、取り上げ方には少し違いがある。
委 員	○ 保健の教科書だが、他の教科書に比べると、子供たちが書き込むような欄というか、枠というか、たまに問題みたいなのも見受けられるけれども、どの教科書もあると思うが、実際先生方が授業を進めていく上では、やはり書き込み欄などが充実していると進めやすいというようなことがあるのか？
回 答	◆ どこの教科書会社も、教科書の中にワークシート的な部分が入り込んでいるので、教師にとっては働き方改革もあり助かっている部分もあると思う。

	<p>自分で準備しなければならないものを精選できるといった良さもある。逆にワークシートばかりに頼るのでは、書く力ということや、自分でノートをまとめていくといった部分では心配な部分もある。</p>
委員	<p>○ SDGsの観点で、巻末にまとめてあるのを見たところ、差があるのではないかと思うが、分析されていれば教えていただきたい。</p>
回答	<p>◆ 2者ぐらいは大きく取り上げているが、SDGsの観点という部分では、全世界的に取り組んでいる部分でもあるので、どの教科書でも必ず、関係のあるところで掲載してあると思っている。その部分を発展的な部分として取り上げていくのであれば、意味があるという思いがある。そこら辺りの取扱いの差は若干あるのではないかと捉えている。</p>
委員	<p>○ この教科書が作られる頃がどうだったのか？ということが気になるが、感染症のことについては、それぞれの取り扱い方の軽重があるのではないかと思う。項目として感染症の予防を取り上げている発行者もあったし、そこまでないところもあった。ちょうど教科書作成の時期が、コロナ禍の時期と全く重なっているのかどうか分からないが、感染症についての取り扱い方についてはいかがだったのか？</p>
回答	<p>◆ やはり各者とも、この新型コロナウイルス感染症についてはしっかりと取り上げている。インフルエンザ、AIDSなどと同様に、病原体が元になって起こる感染症であるため、症状や感染予防対策等について、写真やイラスト、また新聞記事などもうまく活用しながら、各者紹介していると分析している。</p>
委員	<p>○ どの教科もQRコードを使っていると思うが、例えば学研は、シートに書こうといったQRコードしかないように思えた。指導する上で、QRコードを使った指導というのは重要なのか、また、他の教科でもいろんなQRコードを使った学習があるが、使い方の調査ができていれば教えてほしい。</p>
回答	<p>◆ 二次元コードについては、各者いろいろなところで教科書にはたくさん入っている。実際に今、延岡市でもタブレットを使っているのので、動画とかはすぐに使え、授業の中で資料として、全員で一斉に視聴できる。さらに自宅に持ち帰った際には、自分なりに2次元コードにアクセスし、その動画を見たり、資料を見たりして学習を深めるという利点もある。ワークシートの話もあったが、そのような説明的なこともたくさん出ている。</p>
委員	<p>○ 今、体育の考え方が体力向上だけではなく、健康な体づくりというか、豊かな社会づくりというか、そんなふうに変わってきているように思う。そういった中で、この保健の授業を考えたとき、これからしっかりと踏まえていかなければならないことは、タブレットとかインターネット、ICTとの上手な接し方というか、そういったことが今後、重要になってくるのではないかと考えている。それぞれの教科書の中で、インターネットの使い方や、その頻度について、取り上げられていれば紹介していただきたい。</p>

回 答	<p>◆ 保健の教科書の中では、危険回避能力の育成について、インターネットの使い方や、インターネットで危険なことが多いといった、中身や内容について、各者、危険回避能力を高めるという視点で掲載されていると思う。</p> <p>ただ、やはり使っている部分と、そういう危険を伴う部分が二つ重なりあっているの、先ほど申し上げたように、様々な資料をすぐに閲覧できるという部分は、すごく良いメリットだと考えている。実際に質問にあった危険回避能力を高める上での指導は、犯罪に関わる部分などについても掲載されており、ほとんどの教科書の中で重要視されているところである。</p>
-----	--

3 協議・採択

会 長	□ それでは協議に入りたい。たくさんあったので、なかなか甲乙つけがたいところはあるが、ご意見をいただきたい。
委 員	<p>■ 見させていただいて、心の成り立ちと心と体の繋がりページの部分が学研は若干多いと感じた。他のものに比べて多いような気がしていて、書くところもすごく多く、自分の心の内を内省して書くというところがよい。</p> <p>紙の質感からしても、結構書きやすいようになっているし、たくさん書けるようになっている。QRコードで情報をインプットするということも大切とは思いますが、自分の心の問題は、アウトプットするしかないと思うので、アウトプットをして自分を見つめるという、内省するという意味では、この書くという作業は、QRコードよりも細かく、自分の内側のことを書くことができ、この書きやすい内容になっている学研はいいなと思った。</p>
会 長	□ 心の健康の部分で、内容が充実していることの大切さや、書けるということの大切さといった意見であった。他にいかがか？
委 員	<p>■ 今お話あったが、学研は確かに書くところが充実していると思う。同様に、東京書籍も児童が考えたことを、しっかり書き留めるということができるようになってあるように感じた。また、朝からたくさん教科書を見てるが、QRコードがポツンと、別の場所のところであって、おそらくこれに関係するものなんだろうなあと思っしながら使うというものが多かった。しかしこの東京書籍の保健には、QRコードの下に、これが何なのかという、説明がしっかりと書いてあるので、非常に指導する側には指導しやすいのではないかと思った。QRコードの下に水色で、これは何、というタイトルがちゃんと書いてあって、わかりやすい。おそらくイメージ通りのものを、資料としてすぐに取り出せるような工夫があるのではないかと思った。</p>
会 長	□ QRコード、書くところの工夫、そんな意見が出た。他にいかがか？
委 員	■ 全部の教科書5つを見比べてみたときに、東京書籍が、一番最初に説明があったように、学習の進め方として、ステップ1からステップ4の流れが

	<p>全ての単元において、示してあった。そういうところは指導者である教師にとっては、大変授業がしやすいんじゃないかと感じた。</p> <p>子供たちも授業の進め方がわかかわかるので、今何をする時間なのかということがわかって、進みやすいのではないかと感じた。先ほど質問があったインターネットのところの記述は、矛盾するが、どちらかというところの犯罪のところよりも、学研の一番最後のページ、88ページのパソコンやタブレットと健康という、このような部分に気づかせることが大切だと思っている。そのような部分が他の教科書にはないので、少し迷っている。学研がいいという気がするけれども、学習の流れからすると、東京書籍もいいのではという感じがして迷っている。</p>
会 長	<p>□ パソコンとかインターネットの部分の記述は、学研の方がまとめているのではないかというご意見だった。他にいかがか？</p>
委 員	<p>■ 先ほどの別の教科でも出たが、多様性という話である。東京書籍の表紙のイラストを見ると、そういう意識があると感じている。また別の視点で、学研の方を見てみると、下の方にプチ知識みたいなものが出てくるが、東京書籍の方も、豆知識的な部分がある。その部分が、学研の方が少しだけ多めであるような印象を受けた。</p>
委 員	<p>■ 依存症に関して、東京書籍の方は、64ページに様々な依存症というところで、ゲームやインターネット、小ギャンブルなども依存症であるという記述があるが、パソコンやタブレットとして、特化して書かれているのは学研の方かなと思う。</p>
委 員	<p>■ 前回の採択で、なぜ東書が良かったのかということを読んでは、書き込むところが他の発行者よりも多いとあった。先ほどあったように学研も結構あるが、同程度ぐらいあるのか？と思った。また、学習の進め方についても、言葉の違いは多少あるものの、どの会社も同じような進め方をしている。ただ先ほど申し上げたように、書き込みが学研と東書は多いということ、そして東書の64ページの依存症、飲酒と健康というところは、飲酒・喫煙・薬物乱用などについて、より詳しく書いてあるというようなことで、東書を選んだというように書いてあった。つまり、そこ辺りのこともしっかりと押さえてあるので、東書の方がやはりいいのではないかと思った。</p>
委 員	<p>■ 現在使っている教科書が東書ということで、他とどう違うかと思って見ると、挿絵などが非常に効果的である。他の発行者では、事故を起こしそうな場面などでは、こうやって怪我をするんだといった否定的な笑顔が多い。そういった中で、東書は幾分柔らかく書いてあるように感じた。</p> <p>同様に学研でも結構うまく表現してるように感じた。他社に比べて穏やかな表現になってるような気がしたが、その他の教科書では、事故を起こす瞬間や危ない状況などの場面を通して、こんなことをしてはいけないといった表現が多いように感じた。東書のような表現がいいと思った。</p>

会 長	□ 学研と東書という意見が多いように思うが、県内を見ても、ちょうど半分ぐらいにわかれているような感じである。他に意見はないか？
会 長	□ なければこの二つで、どちらがいいかを協議させていただきたい。多数決を取らせていただきたいと思うが、いろんな意見があった。書くということを考えるとどちらも多いが、学研がいいのではないか。それからQRコード等に頼らず、書くことの方が重要な時もあるのではないか。心の健康ということていくと、分量的には学研の方がいいのではないか、多様性ということ考えたとき、パソコン等のインターネット等の取り上げ方は学研がいいのではないか。 また東京書籍については、授業の流れがしっかりと抑えられている、授業がしやすい、そういう話もあったし、挿絵の話もあったが、それぞれに良さがあり、どちらも同じぐらいの分量かなという気がしている。 どちらがいいか、心の中で決めていただきたい。現行なら東京書籍ということになるし、学研になれば変わるということになる。どちらでもいいと思うが、しっかりとした議論もできていると思う。よろしく願いたい。 それでは現行から伺いたいが、現行の東京書籍の方が良いと思われる方は挙手をお願いしたい。(挙手多数)ありがとうございます。過半数を超えたので、現行の東京書籍ということ決定させていただきたい。

【 外国語科 】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 付録としてついているワードブックや、Dictionaryについてである。こういうものがついてるものとそうでないところがあるが、このワードブック等についての意見、考え方、取扱い方について、委員の中では何か意見が出たのか？
回 答	◆ 教科書の中で取り扱う単語を、辞書のようにして集約しているものが、別冊になっているということである。2年間使用するものが2者、1学年ずつ使用するようになっていくものがある。研究の中で話題になったのは、これらを中学校に持ち上がるということもできるということだった。しかし、基本的にはどの教科書の巻末にも同様の内容が掲載されているので、どの発行者でも、同じような役目は果たせるだろうという議論もあった。

会長	□ 3者というのは東京書籍と開隆堂と三省堂か？
回答	◆ そうである。
委員	○ 切り取って使えるようになっている資料もいくつかあったか？
回答	◆ あった。
委員	○ 最後の啓林館などは切り取って使えるようになっているということか？
回答	◆ そうである。
委員	○ 4年生までの外国語活動と、5年生からの外国語科、そして中学校への流れ、そういったものを意識しながら作られている、と思えるような教科書になっているのか教えて欲しい。
回答	◆ どの会社も外国語活動と中学校の英語についての流れは、意識されて構成されているものだった。それぞれそれを意識した単元や活動が設定されているものばかりだったので、全て繋がりと捉えている。
委員	○ 素朴な疑問だが、この前から思ってたことである。この巻末にローマ字が出てくるが、以前は国語で出てきたと思う。英語が始まるということで、このようにして使うために付けられたのかなと思った。また、入力の関係があるので、日本ではこのように取り扱っているのかなと思ったのだが、外国人に言わせると、これは大変で、混同してしまうということをよく聞く。
回答	そこで、混同するという問題点について、工夫がなされてる点とかあれば教えていただきたい。ローマ字の取り扱い上の注意事項とかあるのか。
回答	◆ 研究の中で話題になったところでもあるが、5年6年は、書くことについては、慣れるということが基本になっているので、基本的には書くというよりも、話すという活動が大きな活動になってくる。そういった意味では、ローマ字の学習とは、また少し違う取扱い方をするということになる。
委員	○ わかった。掲載はされてるということで理解していいか。
回答	◆ それで良いと思う。
委員	○ 他の教科でもあったが、教科書に書き込むようなスペースがたくさん設けてあるところがあるが、実際の授業で、教科書をこのように使われるのかどうか教えてほしい。
回答	◆ 全ての教科書に書き込む欄が設定してある。研究員の中で議論したところ、やはり授業の中でも、ワークシートという形で使ったり、書き込んだりする活動を入れているということで、活用されているとのことである。
委員	○ ノートは別に持っているのではないのか？
回答	◆ 持っている場合もある。そこまで全て調査研究が進んでいるわけではないが、実際どうかという点では、使っているところをよく見ることが多いということになる。
会長	□ 説明者の学校では、使っているところがあるということでもいいか。
回答	◆ そうということである。
委員	○ 先ほども出たが、中学校で使ってる教科書と、同じ会社じゃないといけ

回 答	ないのかどうか、ということについてはいかがか。
委 員	◆ 学習指導要領の内容は、全ての教科書で同じものを扱っているのに、中学校で別の会社になったとしても、指導内容としては差し支えがあるものではないと、研究員では協議している。
委 員	○ 現状では、小と中是一緒になっているということだが、差し支えはないということでもいいか？
回 答	◆ それでいい。
委 員	○ 各者で個性があり、結構差が出ていて、イラストが多いところ、写真が多いところ、様々だと思うが、個人的にはイラストの方がなんとなく見やすいという意識がある。その辺りについて、何か協議したこととかあったら教えて欲しい。
回 答	◆ そちらについては、研究の中では取り組んでいない。ただ、今回の教科書には動画も入っており、アニメーションであったり、実際の動画であったり、非常に様々なコンテンツが教科書の中で活用されていることは、調査の中で分かっているところである。
委 員	○ ちなみに宮崎に関係のある教材はあるのか？宮崎に行ってみようとか、宮崎でサーフィンをしようとかだが、そういうのはなかったのか？
回 答	◆ 教材としてはなかったが、素材としてはあった。
委 員	○ 宮崎のことは、マンゴーとか日向夏とか何かさっきあったようだが。
回 答	◆ 紅葉狩りで高千穂が紹介されているものや、サーフィンの場面もあった。
委 員	○ 先ほどの冒頭の話に戻るが、ワードブックの別冊の方の使い方の頻度として、同じ冊子の中に組み入れられているものと、別紙、別冊であるものと、その使い方の頻度については、なかなかわかりづらいかとは思いますが、いかがなものか、分かる範囲で教えてほしい。
回 答	◆ これも研究の中で話題になったが、それぞれの頻度としては、当然これを2年間使う発行者については、長く利用することになる。ただ途中で、紛失等があると、心配な部分も出てくる。その点、年度ごとに活用するワードブックについては、その年度で使用は終わるということもあるため、どちらが使いやすいのか、どちらの頻度が高いのかと問われると、非常に難しい。

3 協議・採択

会 長	□ それでは採択のための協議に移りたい。意見があれば出してほしい。
委 員	■ 宮崎のことについては、実はサンシャインの5年生の69ページに、あなたの一番好きな日本の場所はどこですか？という質問に対して、一番好きなのは宮崎です。という素材があって、写真が少し載っているところがある。現行ではサンシャインを使っているが、地元のALTと話をすると、決めら

	<p>れたテキストを使うのは、なかなか難しいところがあるという言われている。</p> <p>なぜかという、最初から会話文が載っているの、それに沿ってやるために、実際は、そんな言い方はしないこともあり、また、このような会話にはならないこともあるようである。東京書籍などは、やはりイラストが多く、会話文があまり書いてなくて、これにマッチする、このイラストや絵に合う会話をさせると、その先生の言われる言い回しも含めて、児童の発想も膨らんで、多くの汎用性があるように思う。</p> <p>ただ、ALTが求める、その方のしたいことという、指導者の目的に沿ったものについては、ALTでも日本語が話せない方もいらっしゃるの、この単元が何を指して、どんな内容を目的にしているのかということ、理解することが、なかなか難しいかもしれないとも思っている。</p> <p>だから最初から会話文のあるものではなく、絵などから想像して会話をするものが、もしかしたらいいのかもしれないと思、この東京書籍の教科書などは、結構いい指導につながるのではと思った。</p>
会 長	<p>□ ありがとうございます。My Favorite Place だったが、サンシャインには宮崎が掲載してあるということだった。とても嬉しい話ではあるが、会話を重視するには、センテンスより絵やイラストでが大切であるという意見だった。外国語活動は特にそうだと感じる。他にご意見は？</p>
委 員	<p>■ 多分教科書は中学校に持っていかないのだろうが、この付録のDictionaryは、これ一冊中学校に持っていけば、中学校でもそのまま使えそうなものであり、4者もあるので、先ほどの言葉を使うとずるいなと思ったりした。</p>
委 員	<p>■ 非常にシンプルだが、この教科書の表紙の見開きは、それぞれの会社が工夫を凝らしてあると思う。しかし、開隆堂だけが、他のところとは少し違うように感じる。それぞれの5年生6年生になったら、こういうことを外国語で勉強するんですよという、目的のようなことが、学年ごとに本文でしっかりと書かれている。それがどうなのかとは思いますが、学年の最初に当たって、そういう教科を学んでいくほか、最初に子供たちの目当てみたいなのがここに書いてあるということは、子供たちにとっては、ひとつのメッセージで、こんなことを学習するんだというような、見通しに繋がっていくのではないかという感想を持った。</p>
委 員	<p>■ どの教科書がいいということではないが、どうしても外国語の授業というのは、苦手意識がついたらずっと、中学・高校まで苦手意識が続き過ぎて、本当にできなくなるという印象がある。取っ掛かりとして、すごく勉強しやすいものが一番いいように思えてならない。</p>
会 長	<p>□ 本当にそうである。昔は中学校3年間で、こんなに差が開くのは英語だけだと言われていたが、今小学校から導入されている。早くから苦手意識を持たせないようにしたいものである。そういう教科書はどれなのか。子供た</p>

委員	<p>ちが嫌いにならずに、楽しめる教科書が一番いいが、他に意見はないか。</p> <p>■ 楽しめるという観点ではないが、内容解説書を読んでみたときに、今現行で採択されている教科書の開隆堂と、東京書籍、光村図書とのそれぞれについて、比較してみた。東京書籍は、英語が得意でない先生でも一緒に生徒と学べるっていう文面があり、これは魅力的だし、生徒が一人で学べるシステムになっているので、クリック数が少なくて答えにたどり着けるというのがあった。</p> <p>光村図書は、書き込みのスピードを5分の1に短縮できているということや、ネイティブのナレーターが13段階の速度で再生可能になっていること。さらには、音声や映像のQRコードを入れなくても、そのまま取り込めてしまうということなどが書かれていた。</p>
会長	<p>現行の開隆堂のところは、誰一人取り残さない学びのためにということで、簡単な文を読めたり、書けたりすることができるようになるとあった。</p> <p>したがって、どういう生徒さんと、どういう先生がいらっしゃるかで選べばいいのかなと思ったりしたところである。一つの意見である。</p> <p>□ ありがとうございます。県内で採択されているのが、今話があったように東京書籍と光村図書と開隆堂と分かれているところであるが、東京書籍については英語の得意でない先生も上手に指導ができるように、易しく作られているという、そんな意見だったし、開隆堂については誰一人取り残さないという、これから先のSDGsの考えもちゃんと入れ、書くということも意識しながらという意見だった。また、光村図書については、QRコードをいちいち読まなくてもきちんと取り込みながら、これまでの分量を5分の1ぐらいに集約して取り組めるといった話もあった。</p>
委員	<p>■ 全体的には小学校の先生であるので、英語の専門家ではない。したがって誰でもできるというのがいいが、意見を聞いていて、どの教科書も誰でも指導できるように、工夫されているのかなと思った。難しいところだ。</p>
委員	<p>■ 非常に迷っていて、最初の方は三省堂がいいという思いがあったけれども、さらに詳しく見てみると、例えばこの開隆堂については、教科書の見開きの右端・左端に、今の時間が、全体の流れのどこにあるのかというのが、1から8番まで番号が書かれてあって、教える側の先生たちも、それを見ながら、今この段階をやってるということを意識して教えられるのかなと思った。また、各单元ごとの基本の中心になる話形というのは、言葉だと思う。それは必ずしっかり明記されている。文字でしっかり明記されて、この单元ではこういうことを学んでいくんだということが、整理されているので、前回も開隆堂だったが、良い教科書を選んでもらうと思った。</p>
会長	<p>□ 難しいのではないかとのご意見もあつたり、いいという意見もあつたりと、なかなかどっちというのは難しいかもしれないが、他にいかがか？</p>
委員	<p>■ 開隆堂と東京書籍と、どちらがどちらということではないが、まず、開</p>

	<p>隆堂の方は、繋がりがしっかりしてると感じた。3～4年生から学びをこんなふうに繋げていくんだよ、そして巻末の方に、キャンドゥーチェックという形で5年生でやったことを、こういうふうにチェックしていくんだよ、という欄があった。自分の立ち位置というか、そののところもなかなか難しいことであるが、児童なりに確認できるのではないかというのが一つの理由だ。</p> <p>それから、色合い的にもはサンシャインの方が、ぱっと飛び込む表紙になっていると感じた。一番ポイントになったのは、繋がりがしっかりしてというところである。これが二つ目の理由である。</p>
会 長	□ 開隆堂がよかったという意見だった。他の皆さんいかがか？
委 員	■ 先ほど、英語が得意じゃない先生がやりやすいっていうのもあったが、よく考えたら、例えば本町の場合では、全てネイティブのALTが授業に入る。だから他の市町村のことがわからないが、日本人よりALTの方がメインで授業をやるといったイメージなので、そういう面からも、日本語で文字で書いてあると、少しやりにくいっていうのが出た。それが本町の実態である。本町としては、あまり文章じゃない方がやりやすいというのがあるということに理解してほしい。
会 長	□ ということだが、各市町村のALTの配置はどうか、大体各小学校はフォローしてもらっていると思うが。ほとんどどこも同じような状況ではないかと思っているので、文章がズラッと並ぶよりは、いろんな発想が生かされて、広がっていく方がいいのではないかという意見にだったと捉えたい。
会 長	□ 他にいかがか？意見が出なくなってきたが、話を聞いてると3者かなと思っていたが、光村の意見があまり出なくなった。東京書籍と開隆堂の話になってきている感じだ。その2者に絞ってご意見いただいてもいい。
委 員	■ しっかりと中学校への繋がりができる開隆堂、文字・文章が多い開隆堂という、そういった形でも、誰一人取り残さないことを目標にしている開隆堂。逆に東京書籍は、イラストや絵を使って、イラストと一緒に写真なども使って発想を広げながら、会話を広げていく、そういった取り組みが多いのではないか。さらには、得意でない先生も教えやすい教科書ではないか、そういうご意見もあったが、なかなか難しい。
委 員	■ 編集協力、著作者の欄を見ると、開隆堂の中に、宮崎市西池小の指導教諭の先生が入っていたりとか、以前宮崎大学にいらっしゃった、宮崎県の外国語教育を一人で牽引していただいた足立先生とか、そういう関係の方々がいらっしゃると理解したところだった。
委 員	■ 私は自分自身が、英語指導をすることはないだろうなと思っていたが、確かに今、学校では専門の先生に、専科みたいな感じでやってもらっている。もし自分がやらなければいけないと思ったときには、やはり開隆堂ぐらいの、まとまっている教科書の方が、文章も示されていて、やりやすいかなとあとと思った。また、子供の立場でも、家に持って帰って宿題でやろうかなと思う

	<p>ときに、学校でしっかりと書き込んでないと文章も書けない。東書の方はちょっとやりにくいのかなあという気がした。</p> <p>実際小学校の授業を見たときに、一つの言い方にこだわらずに、いろんなやりとりをしながら、コミュニケーションを重視したような授業をしているので、実際は多様な表現が会話として成り立ってるような様子はあると思う。</p> <p>そのような意味で、使いやすさでいったらやはり開隆堂の方がやりやすいのかなと思った。</p>
会 長	<p>□ 逆に素人だと、やはりある程度の文章が示されていた方が指導しやすいという、逆の意見だった。広げるのはそこから広げられるのではないかという意見でもあったと理解した。他にいかがか。</p>
会 長	<p>□ では、発行者数も多いし、意見も難航しているが、大体このあたりでまとめていきたいと思う。それでいいか？議論の中心は2者だったので、東京書籍と開隆堂で採決する。伺うのはいつも現行からである。心を決めていただきたい。もちろん、一長一短どちらもあると思うが、判断をお願いしたい。</p> <p>それでは、現在使っている開隆堂のサンシャイン、こちらの方がいいのではないかと思われる方、挙手をお願いしたい。(挙手多数)では、こちらの方が挙手多数になったので、外国語については開隆堂で決定したい。</p>

【 特別の教科道徳 】

1 専門委員説明

2 質 疑

委 員	○ 各者の内容項目の数に偏りがあったりする傾向にあるのか？例えば主として自分自身に関する事等の項目が多いものがあるとか、そういった傾向はあるのか？
回 答	◆ 東京書籍については内容項目の変更はない。教育出版も日本文教出版も光文書院も、学研も同様に内容項目の変更はない。光村図書は内容項目の変更が少しある。
委 員	○ 変更のあるところは意図があるのか？
回 答	◆ 光村図書は2年生以上の教材で、「道徳が始まるよ」というところが、新たに追加された。第1単元の話である。
委 員	○ なるほど理解した。私の方で各者の目次を見たら、いくつかの色分けがしてあった。学研は説明が詳しくあったようだが、各者このように共通して

回答	◆ 工夫をされているのか？
委員	◆ その通りである。色分けをしてあったり、イラストで類型化してあったり、そのような特徴がある発行者が見られる。
委員	○ その分類の仕方は、発行者それぞれでということでもいいのか？。東京書籍や光村では、いじめなどについては枠囲みがあって、まとめてあったりするがいかがか？
回答	◆ それぞれの発行者で累計化の仕方を決めてると思う。
委員	○ 一者だけ道徳ノートがついているが、この一者だけのことじゃないかもしれないけれど、道徳の時間での書く活動についてはどうか？他にも付随して作られているところもあるかもしれないが、道徳の時間に多分活用されると思うが、書くことについての意見とかはなかったのか？
回答	◆ 6者あるうちの1者だけが別冊をつけているが、それぞれ他の5者についても、教科書の中に書き込む欄は設けてある。また巻末に、学習を振り返る欄を設けているので、別冊であるか、また別冊でないかという違いはあるものの、発行者の狙いとしては同じもの、また児童の学習活動としては同じものが期待できるものと考えている。
委員	○ 東書の資料を見ると、全ての題材にQRコードがついている。今の授業という画面付きの、読んでくれるデジタルコンテンツとか、そのようなものがあったりするのか？掲載される上で、特徴的な主資料にあたるものや、QRコードの活用で特徴的なものなどがあったら教えてほしい。
回答	◆ 全ての教科書に二次元コードはついているが、研究員の中で全てを確認することはできていないものの、特徴的なものはあった。東京書籍では紙芝居が視聴できるようになっているし、教育出版では、色覚の特性を踏まえて、色を工夫してあったりしている。各者に二次元コードの特色があると思う。
委員	○ 目次は各者、この目次の順番で指導するようになってるのか？それとも学校で組み替えを行うのか？
回答	◆ 道徳は児童の実態等に応じて、各学校で年間指導計画を作るようになっているので、この通りにやるのも一つの例ではあるが、各学校で工夫を凝らして年間指導計画は作るようにしている。
委員	○ 東京書籍のQRコードを読み込んだが、一つ一つずつ全部に、朗読とスライドショーとデジタルノートが必ず付いてて、内容を確認できるようになっていた。これは結構見やすいと思ったし、この教科書以外でも学ぶことができるのではないかと思った。
回答	◆ 東京書籍は、思考ツール、人材インタビュー、ワークシート等が掲載されている。それから、教育出版の方は、教材内容の紹介、参考資料、他は特に特徴的なものはないが、東京書籍と教育出版については、そのような結果を得ている。

3 協議・採択

委員	<p>■ 現在採択されている光村図書の教科書について、光村図書と光文、日本教出版には校歌についてのくだりがある。これはとてもいいなと思った。私はその三つがいいと思っている。</p>
委員	<p>■ それぞれの読み物資料というか、教科書の中で、大きく目指すものは4項目ほどであろうかと思う。日本文教出版の2ページと3ページのところに、捉え方として、自分を中心に、周りにはこんな要素があるということで、どんどん段階的に囲まれている様子が、図示されている。他の教科書会社のところを見ると、単独で上がっているものが多くて、一見してこのように自分自身の周りには、こういう方々がいろいろいて、お世話になったり、また影響を与えたり与えられたりしてるという、立体的な図で捉えられているのではないかと感じており、そこのところについては大変好感を持った。</p>
会長 委員	<p>□ 日本文教出版の2ページからの見開きの図の意見だった。他にいかがか。</p> <p>■ 5年生の教科書を見てみたとき、やはり光村図書がすごくシンプルで、この時間に何をどう教えていけばいいのかということが、よくわかり、非常に指導しやすいという気がした。他の発行者ではいろいろな観点が書いてあり、どこに中心を持っていけばいいのかがわかりにくいところもあった。その点、光村図書はすごくシンプルで、色使いも挿絵も優しくて、光村がいいのではないかと気がしている。</p>
委員	<p>■ 今の意見は前回もかなり議論があった部分であった。光村図書については、前回の選定書にも書かれている。道德の(1)の三つ目の○のところには、キャラクターが教材の冒頭部分で、学びに見通しを持たせる問いかけをし、ここではこんなことについて学ぶということを知らせた上で、後ろの方に、考えよう、話し合おう、さらに繋げようというものが、全ての教材で位置づけてあるということだったが、そのことと関連している。</p> <p>また、各資料の一番最初のタイトルの下に、価値項目をきちんと位置づけてあり、どの内容について学んでいるのか分かり易い。前回もそのような議論があり、他の発行者では何について学んでいるのかがよく分からず、どの価値項目について学ぶのかということ、短い言葉でしっかりと示すことが大切だという議論もあったように記憶している。</p>
委員	<p>今、委員が言われたことは、そのような前回の議論に繋がることで、光村図書を選んだ背景について、前回と同じようなことを話されたものと感じた。前回かなり時間をかけて議論したところだったと思い出した。</p> <p>■ 光村図書の8ページに、道德道案内というところが掲載されているが、先ほどの説明の中で、単元の組み替えが大変だという話も出てきた。しかし、このような形で1年間を見通すことで、このような学習をするということが、これで一目瞭然かなと思った。イラストの関係では、光村図書の94ページに、ヨシタケシンスケさんのイラストが出ており、私はこれもまたぐっときた。</p>

	<p>実際には学校の中で、教材を組み替えるということは、非常に大変で、年間の指導計画を各教科ごとに、先生方に作っていただくのも、とっても大変だと感じるので、こういうふうに順番がきちんとしてると、とても学校は使いやすいと思った。</p>
委員	<p>■ 光村についてだが、やはりシンプルだと思うのと、他の教科書会社のサイズの問題だが、考え、議論する教科なので、結構、机を移動させたりすることも多く、授業を見ていると、教科書を広げて机の上に置いたときに、これだけサイズが違うと、スペースもかなり違うのではないかと実感した。</p>
会長	<p>□ 小さくても内容さえしっかりしていて、見やすければ、そういった意味でも、グループで意見を交換したりするときにも便利なのではないかと、そのようなことも感じた。</p>
委員	<p>□ 改めて、これだけサイズ感が違うことを実感する。他にいかがか？最後の検討教科であるので、意見がある方は述べてほしい。</p>
委員	<p>■ 個人的な見解で非常に申し訳ないが、5年生の道徳と言ったら、私が指導してる頃は、手品師、星野くんのリーダー、というのがあった。それを指導したくて、5年を希望したりしたものだが、見てみると、星野くんのリーダーは消え、手品師が、学研と光文と2者しかない。だからなんだということはないが、個人的には残念だなと思った。</p>
会長	<p>□ 委員が現職の頃は、まだ「特別の教科道徳」ではなかったもので、「特設道徳」の指導として、副読本が、光文や学研などから出されており、それを利用して関係もあるかもしれない。教科化され、教科書が位置づけられたことにより、これだけの発行者から教科書として出されてきているため、その頃からすると少し淘汰されたりしてる内容もあるのかもしれない。</p>
委員	<p>■ 今道徳の研究授業を見ると、もう何でもありで、アニメの鑑賞会のような内容の授業もある。いろんな道徳を見られるのだが、まさしくこの光村の、この教科書を見たら、昔ながらの道徳が、しっかりと引き継がれ、保たれるのではないかとという期待がある。取材等もしっかりとされており、内容項目もしっかりと分類され、位置づけてあって、それ以外の教科との関連なども整理されており、中の文章等を見ても、問いかけなどがあったりして、授業の展開がある程度出来上がっているということを強く感じる。年間の何時間かは、やはりこのような教科書を使って、しっかりとした資料を使って、子どもたちを導いていきたいなあという気がした。</p>
会長	<p>□ そういう意味では、例えば日文の教科書では、いろんなアイデアが入っており、新しい教科書といった感覚があって、面白いなと思ったが、逆にシンプルな光村図書の資料で、ほっとするようなところが自分にはあった。</p>
委員	<p>□ 道徳の授業は、やはり議論したくなるようなものでありたい、そういう意見であり、何でもありということではないのでは、という意見だった。</p>

会 長	□ 本当に最近では何でもありになっている気はする。国語の授業と全く変わらないものもある。道徳とどこが違うのか、といった授業もよく見る。やはり子供たちがじっくりと価値と向き合い、価値葛藤しながら考え、行動に移せるようにしていくような教材でありたい。なかなか難しい時代になってきていると感じる。他にないか？
会 長	□ それでは意見もないようなので、採択に入りたい。意見をいただいているのは、ほとんどのところが現行の光村がいいのではないかというものだったように思う。現行の光村図書が良いと思われる方は挙手をお願いしたい。 (全員挙手) それでは道徳については、現行の光村図書を採択するということにさせていただきたい。

【 会長より 】

- 以上をもって全ての協議を終了をさせていただく。
確認をしたいと思う。本日の取扱注意の資料の6ページにある教科書について、検討をしてきたが、3ページの一覧表で確認したい。
来年、令和6年度から使用する教科書を採択していただいたが、国語は現行のまま光村図書、書写はそのまま光村図書、社会科は変更となり日本文教出版、地図は帝国書院のまま、算数は啓林館のまま、理科も啓林館のまま、生活科も啓林館のまま、音楽は教育出版のまま、図画工作は日本文教出版のまま、家庭科は開隆堂のまま、保健は東書のまま、道徳は光村図書のままで、外国語も開隆堂のままということになった。
社会科だけが日本文教出版に変更になり、その他は全て、現行の教科書が採択されたということになった。間違いなかったか。
- 全ての教科で専門員の代表の方に説明をいただいた。心から感謝申し上げたい。
- 11教科13種目全てにおいて協議を終えたが、スムーズに議事を進められた。当初予定していた時刻よりも若干過ぎたが、お詫び申し上げたい。
皆さんの熱心な協議にも、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。
- では事務局にお返ししたい。

3 閉会行事

【 事務局より 】

- 今村会長・垣内副会長ありがとうございました。
最後にその他、今後の日程について説明する。

教科用図書の採択については、本日の協議会の選定結果を各市町村に持ち帰り、それぞれの教育委員会において採択を行い、その結果を、採択地区協議会事務局まで報告いただく必要がある。

- 各教育委員会事務局に対し、別途、本日の結果を文書で願うが、各市町村教育委員会においては、採択について協議し、決定内容を協議会事務局へ7月31日曜日の午前中までに報告することとなっている。遺漏のないようお願いしたい。
- なお本日の協議会の選定結果等については、先ほども申し上げたが、この会の終了後に各市町村教育委員会の教科書担当事務局宛、文書で送付させていただく。
- 最後に、冒頭で資料は全て回収をさせていただくことを説明したが、訂正がある。先ほど申し上げた通り、この後、それぞれの市町村教育委員会で、本日の協議会の協議結果の同意について審議をしていただくことになるため、その審議の参考資料として、本日の説明資料として使用した、令和6年度小学校用教科用図書研究のまとめ、全教科と別冊の教科ごとの報告書のファイルについては、各一部のみ、教育長にお持ち帰りいただくこととする。
- また、本日、参考資料として配付した令和2年度使用小学校用教科用図書の選定理由書の資料については、必要な方は持ち帰っても良い。事務局からのお知らせは以上。質問等はないか。

【 会長より：補足 】

- 今の確認だが、ファイルと研究のまとめは教育長だけ持ち帰ってよい。あとの皆さんの資料は、テーブルの上に置いておくこと。参考資料として配付した、全教科の元年度分の選定理由書は、既にネットにも掲載されている資料なので、必要な方は皆さんお持ち帰りいただいて大丈夫とのこと。不要な方は置いて帰られても結構。
- 一番早く、定例教育委員会を開催し採択をされるのはどこか？日向市は26日だ。諸塚村が13日ということだが、議事録や選定理由書を取りまとめて送付するのは時間的に難しい。独自に説明をお願いしても良いか。
- 各市町村で採択を行う場合には、市町村教育委員科に送付されている見本本を活用して行ってほしい。資料の必要なところは、申し入れを行ってほしい。教育長だけにお渡しできると思う。本日の第2回の取扱注意の資料については、教育長だけ参考にお持ち帰りいただくことは可能であるので、適切に活用してほしい。

【 事務局より 】

- 他にご質問はないか。なければ、令和5年度第2回教科用図書北部採択地区協議会の全てを終了したい。長時間にわたり皆様大変お疲れ様でした。気をつけてお帰りください。ありがとうございました。